

湖北野鳥セナタートイレ等改修工事 設計図

令和４年６月

I 工事概要

1、工事場所

長浜市湖北町今西

2、敷地面積

—

3、工事種目

トイレ改修工事  
安全対策工事

4、工事内容

野鳥センター(昭和63年2月竣工)の既設トイレの洋式化  
外部建具清掃用の安全ワイヤーの設置

II 建築改修工事仕様

1、共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官庁建設部の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（令和4年版）（以下、「改修仕様」という。）により、また、改修構性に記載されている事項は「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（令和4年版）」（以下、「構性」という。）による。

2、特記仕様

(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
(2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。  
(3)特記事項に記数の( )内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
(4)特記事項に記載の(横、縦、斜)内表示番号は、構性の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章

項 目

特 記 事 項

①一般共通事項

① 工事実績情報登録(CORINS)

請負金額が500万円以上の場合は契約、変更、完成時のそれぞれ10日以内に登録すること。(横1,1,4)

② 施工体制

受注者は、公共工事入札契約適正化法に基づき施工体制台帳の写しを提出すること。  
また、市担当者から施工体制の点検を求められたら対応し、指摘がある場合は是正すること。  
イ「長浜市現場代理人の常駐に関する運用基準」に従い、現場代理人を決定し届け出ること。  
ロ 現場代理人は、請負人との直接的な雇用関係を証するもの(健康保険証の写し等)を「現場代理人等届」に添付すること。また、「現場代理人等変更届」も同様とする。  
ハ 主任(監理)技術者も同様の確認を受けなければならない。  
ニ 現場代理人と主任技術者または監理技術者を兼ねることができる。

③ 現場代理人等

④ 提出図書

※施工計画書 提出部数 ※1部 (横1,2,2)  
・施工図 提出部数 ※1部 (横1,2,3)  
・完成図 提出部数 ※2部(A3版縮小製本及び電子媒体) (横1,7,2)  
・保全に関する資料 提出部数 ※2部 部 (横1,7,3)

⑤ 工事写真

区 分	撮影箇所	提出部数	備 考
着工前、完成	・3 ※6 ・15 ・30	2	同じ位置で撮影すること。
工事中		1	必要に応じ撮影する
定期提出	代表的な出来高の部分	1	工事日報用

工事写真の撮影要領は、「工事写真撮影ガイドブック-建築工事編」(国土交通省大臣官庁官庁建設部監修)による。  
竣工写真はキャビネ版カラープリントによる写真を製本し、また、画像データを電子媒体で81部提出すること。

6 竣工写真

次に指定する工程・作業は指定の日時に行うこと。(横1,3,5)

工程・作業	指定日時

7 施工条件

⑧ 養生材の処理等

※構外撤出適切な処理 ・指定( ) (横1,3,11)

9 施工調査

工事着手に先立ち、施工調査を行い報告すること。(横1,5,1)

調査範囲	調査方法
	※目視調査 ・打診調査

10 一工程報告

一工程施工報告書の提出 ○不要  
・解体 ・防水改修 ・外壁改修 ・耐震改修  
・各工程毎 (横1,5,4)

11 化学物質の濃度測定

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度をバツプシ法にて測定し、報告すること。  
また、基準値を満たさない場合は、対策を講じたのち再測定を行うこと。  
測定箇所 ・ 箇所(事務室) ・ 図示 (横1,5,9)

⑫ 下請業者等の選定

各種下請業者、製造所等市内で供給出来るものについては、極力市内業者を選定すること。  
受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事組立保険等を工事事務所に付するとともに、第三者等への損害についても補償する保険に加入すること。

⑬ 保険等

受注者は、施工に先立ち地元自治会、近隣住民等に工事施工内容の説明を行うこと。  
また、損傷等が生じた場合は請負人の責任において現状に復旧すること。  
また、受注者が自ら必要と思われる図示以外の近隣家屋・工作物等についても調査を行うこと。  
工事着手前に製本を作成し、監督職員に提出すること。 A3サイズ 3部  
設計図書に明記なくとも機能上、構造上当然必要と認められる軽微な変更および追加工事においては、請負金額の増減対象としなない。

14 地元説明会

15 近隣家屋の調査

16 設計図の製本

⑰ 軽微な変更

⑱ 不当介入に関する通報制度

1. 受注者は暴力団員等による不当介入(不当な要求又は業務の妨害)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、措置に必要な協力を行うものとする。  
2. 受注者は前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書により、監督職員に報告するものとする。また、請負人は、以下のことについて、下請負人(再委託の協力者を含む)に対して、十分に指導を行うものとする。  
3. 受注者は暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

⑲ 石綿含有建材の事前調査制度

1. 石綿障害予防規則および大気汚染防止法に基づき、石綿に係る事前調査結果の報告(石綿事前調査結果報告システム等を利用)を行うこと。(報告先：労働基準監督署・環境事務所)  
2. 調査結果は公衆の見やすい場所に作業開始前に掲示すること。  
指示板サイズ : A3サイズ(42,0cm×29,7cm)以上  
3. 監督職員に調査の結果を報告し、設計図書・内容が異なる場合は協議を行うこと。  
4. その他  

調査範囲	○当該施工範囲	・図示
貸与書類	○建設当初図面	・石綿調査報告書

②仮設工事

① 騒音・防じん対策

・(ア)防音パネル ・(イ)防音シート

② 足場等

外部足場防護シート ・グリーンネット ※メッシュシート ・養生シート (横2,2,4)  
内部足場 ※枠組み ・脚立、足場板等 ・単管ステーシング  
材料等運搬方法 ・B種(トラッククレーン等) ・C種(既存EV) ・D種(既存階段)

3 仮設衛生切

種 別	下 地	仕上材(厚さ mm)	充てん材	塗 装
※A種	※軽量鉄骨	※せっこうボード(※9,5 ・12,5)	厚さ mm	※無し
・B種	・木下地	・合板(※9 ・12)		・片面
・C種	・単管下地	・防炎シート		
※仮設扉	※木製扉	※ポリ合板片面フラッシュ		※無し
	・鋼製扉	・メラミン合板フラッシュ		・有り

※仮設衛生切高さ 2,0m

工事用水 既存施設 ・利用不可 ※利用可(※有償 ・無償)  
工事用電気 既存施設 ・利用不可 ※利用可(※有償 ・無償)

④ 工事用水・電気

⑤ 工事中の注意事項

当該施設は観光客対象の施設であるため工事中の安全管理には十分注意すること。  
作業エリアにはバリケード等の進入禁止等の措置を行うこと。  
事務室には事務員が常駐されることを配慮のこと。

③土木工事

① 埋戻しおよび盛土

埋戻しおよび盛土 種類○A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 不足分は良質土撒入する。(横3,2,3)  
・ 構内指示場所敷きならし ・ 構外指示場所敷きならし ○ 構外撤出適切な処理 (横3,2,5)

② 建設発生土の処理

材料 ○ 再生クラッシャーラン (横4,6,3) (横4,6,4)  
厚さ及び適用範囲  

厚さ	適用箇所
○150	○土間コンクリート

③ 砂利地盤

材料 ○ ポリエチレンフィルム厚さ0,15mm以上 (横4,6,5)

④ 床下防潮層

⑤ コンクリート工事

① 鉄筋の種類

・ 異形鉄筋(JIS G3112) (横5,2,1)  
・ SD 295A ○D10 ・D13 ・D16 ・D19  
・ SD 345 ・D19 ・D22 ・D25 ・D29  
・ スパイラル筋 SR235 径φ 外径80~120 ピッチ50  
・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けた鉄筋  
編目形状寸法(・150×150 ・100×100) 径(・6 ・8 ・10) (横5,2,2)  
・ 別図による ・ 構造配筋標準図による ○ 構性による (横5,3,1~4)  
○ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 (横5,3,4)  
・ ガス圧接継手 SD345 (径19mm以上) D19~D25 SD390 D29~D32 (横5,5,1)  
・ 超音波探傷試験による検査 ・ 引張試験による検査  
○ 入れる ・ 入れない  
○ 接着系アンカー(径:M10) ・ 打ち込みアンカー(径:D10)  
接着剤の品質 ・ 有機系  
アンカー筋の種類 ・ 鉄筋コンクリート用棒鋼

② レディミックスコンクリートの類別

○ I類 ・ II類 (横6,2,1) (横6,4,1,2) (横6,5,2,1)

③ コンクリートの仕上がり

部材の位置及び断面寸法の許容差  
○ 幅仕表6,2,2による  
合版せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (横6,2,5) (横6,2,4) (横6,8,3)  

種 別	適 用 箇 所
・A種	
○B種	躯体全般
・C種	

④ セメント

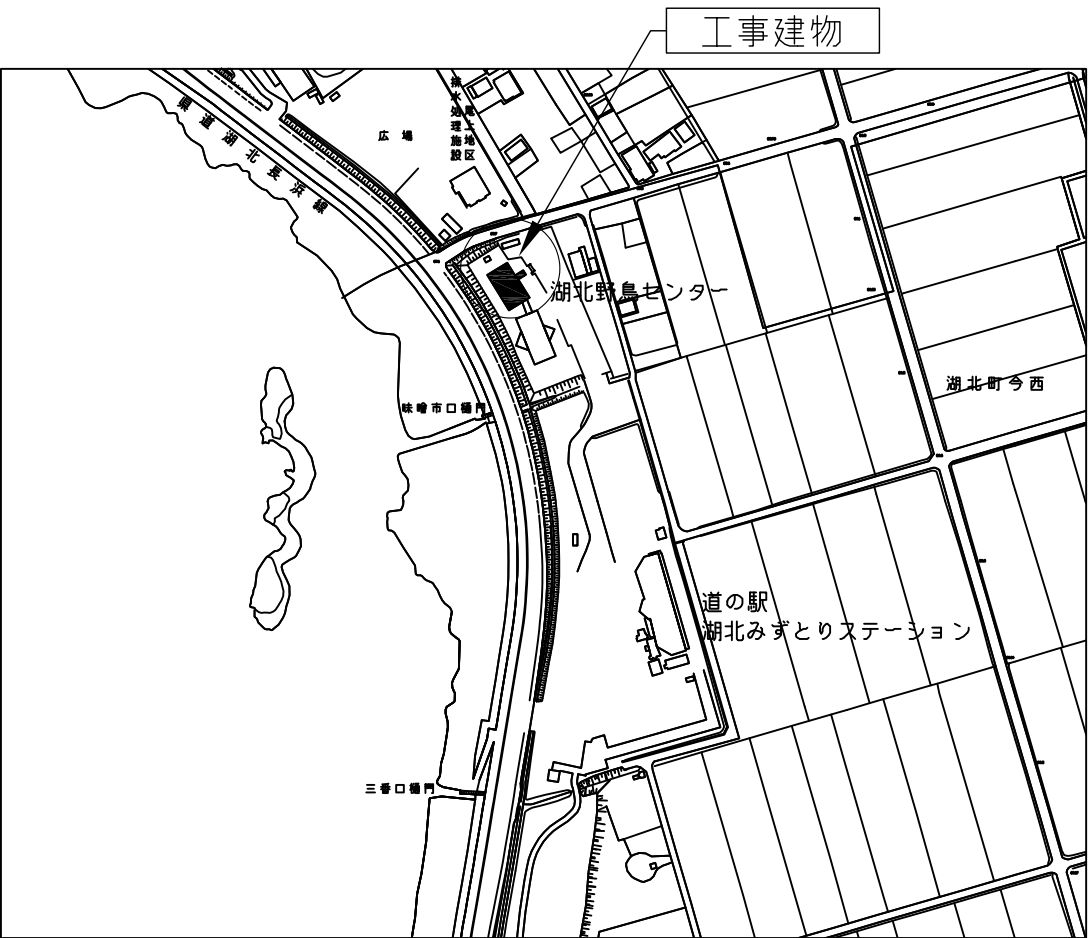
セメントの種類 (横6,3,1) (横6,13,2) (横6,15,2) (横6,3,1)  

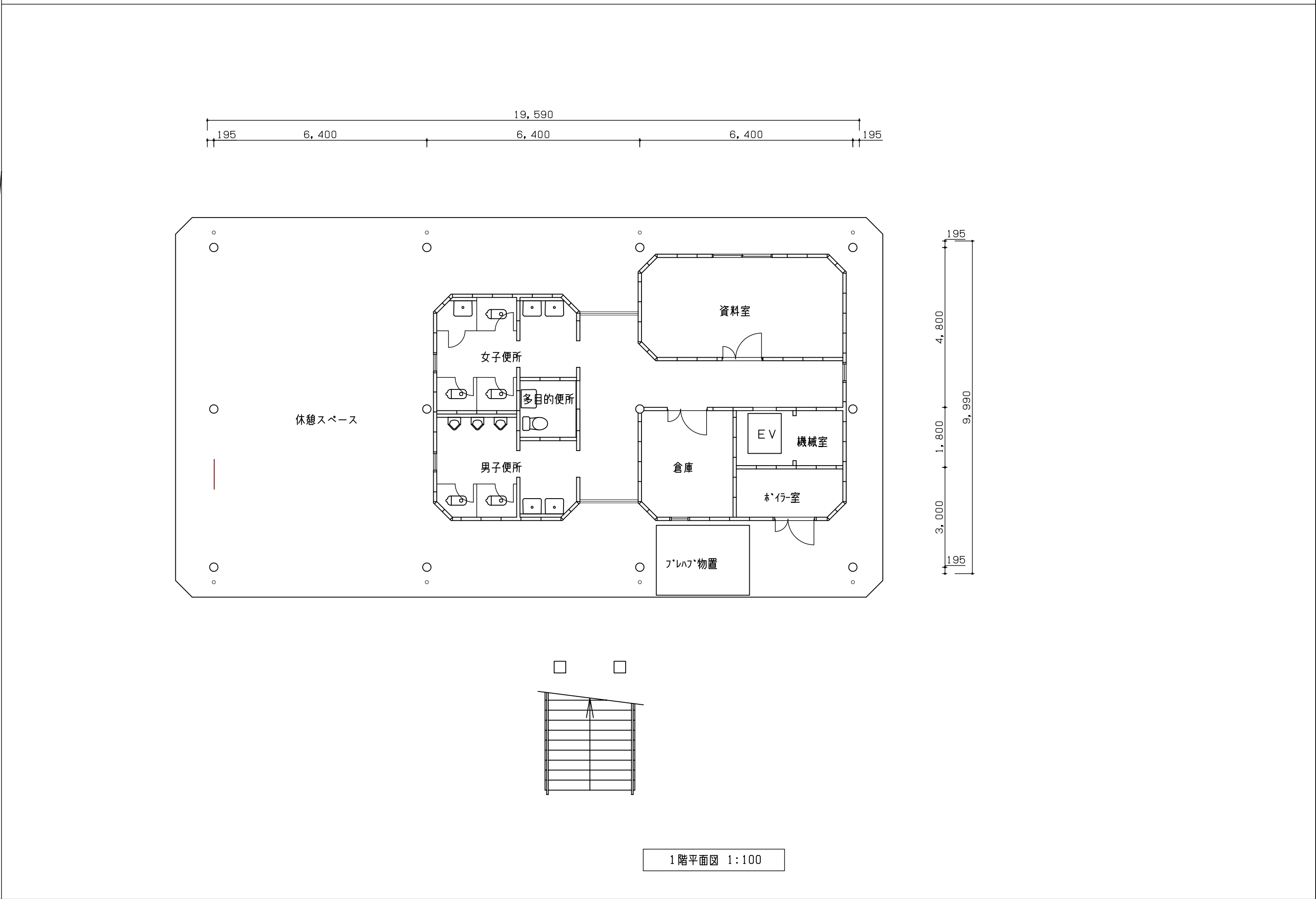
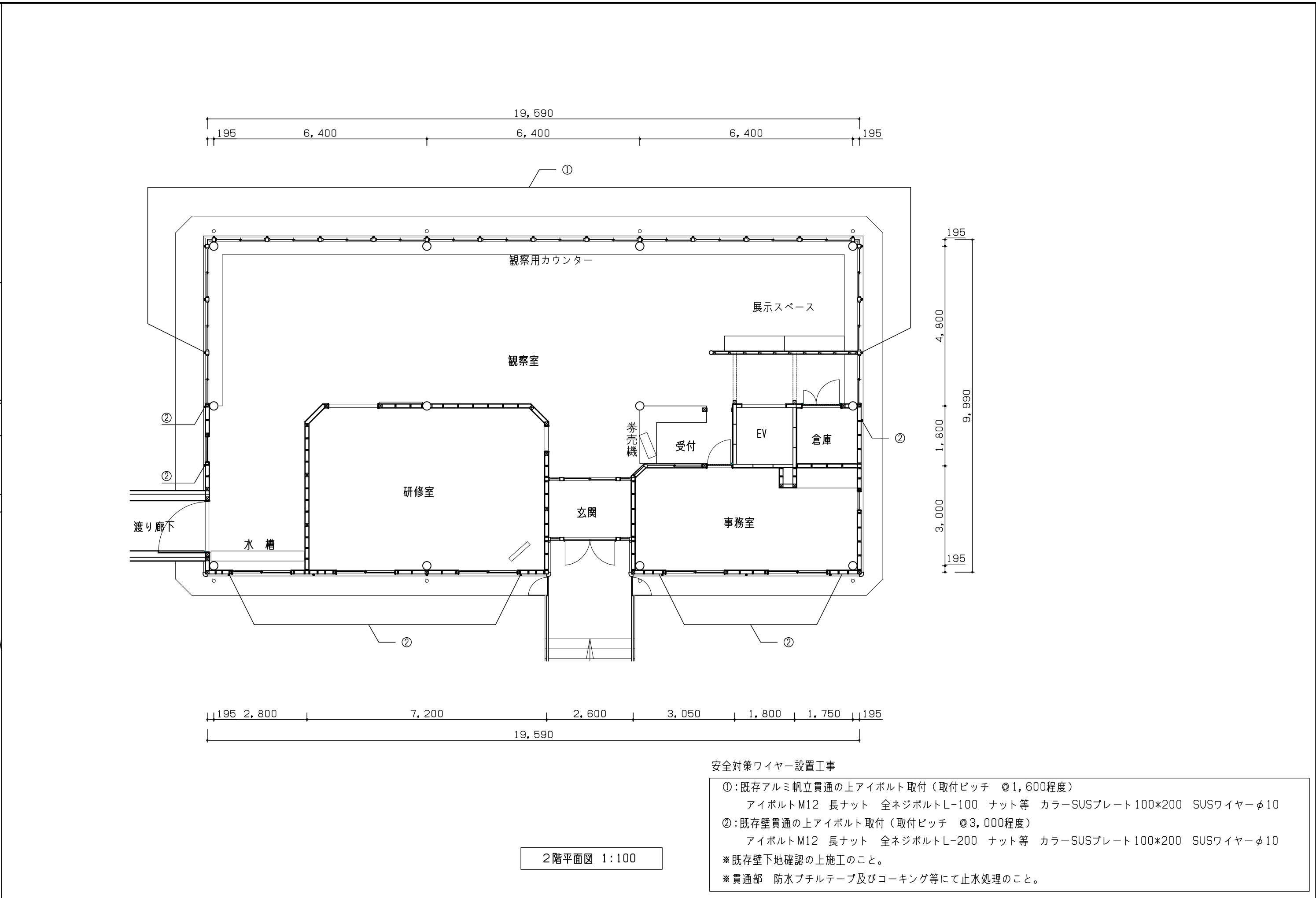
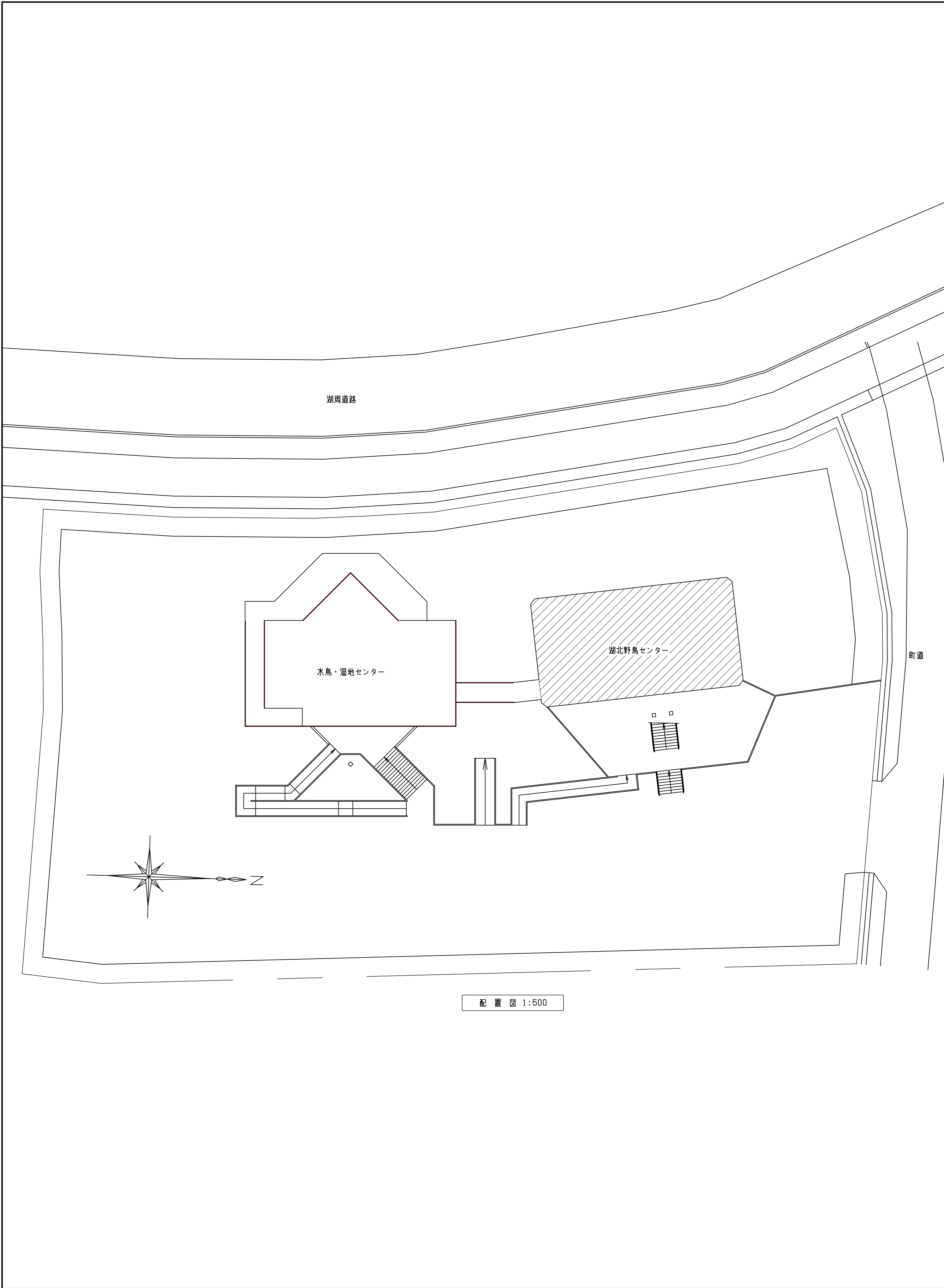
種 類	適 用 箇 所
○普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種	下記以外全て
・高炉セメントB種	1FLより下部(立上り部含む)
・フライアッシュセメントB種	

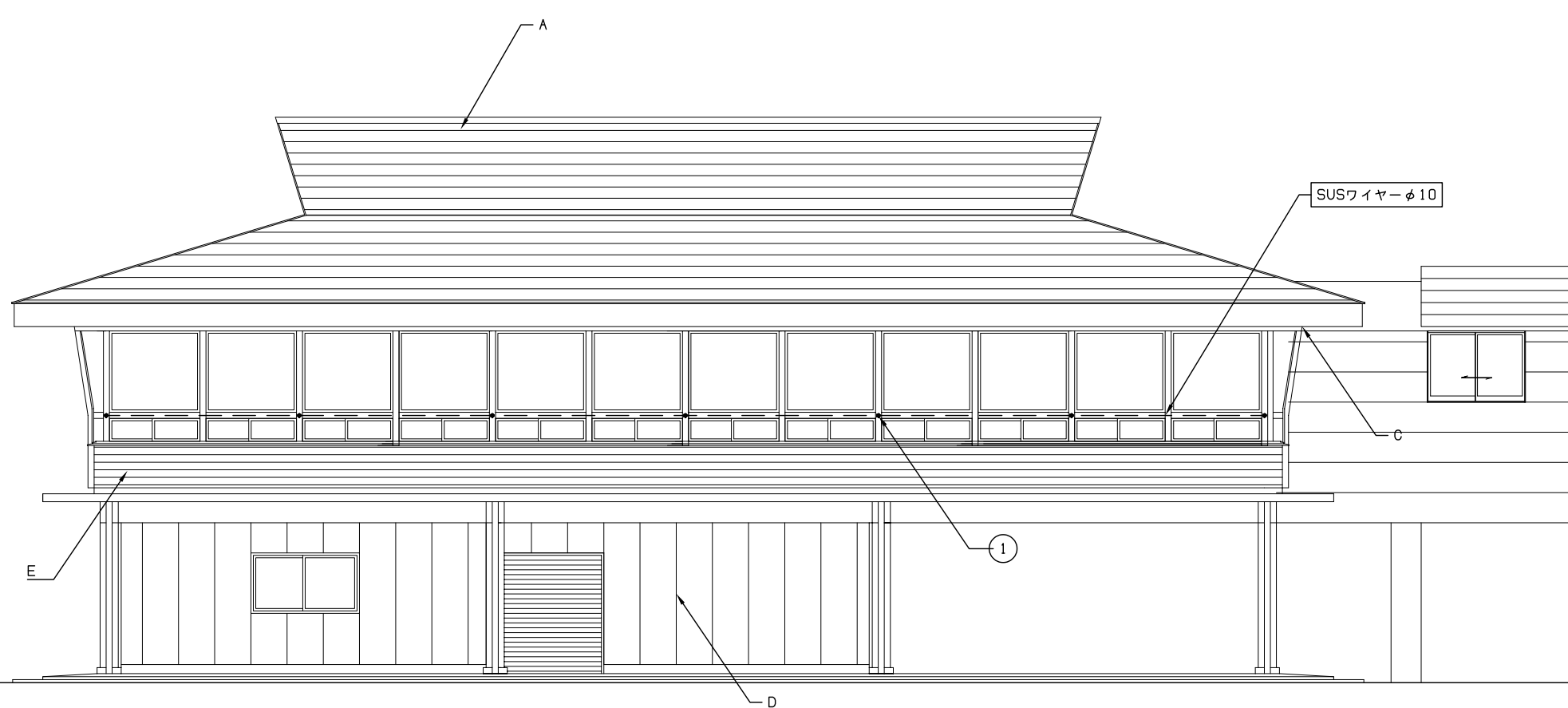
普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210に示された規定の他、水熱和が7日目で352N/g以下、かつ、28日目で402N/g以下のものとす。但し、無筋コンクリートに用いる場合を除く。(横6,3,1)

混和剤の種類  
○AE剤・ AE減水剤又は高性能AE減水剤(単位水量185kg/mを守れない場合)  
混和剤の使用量 ○横仕6,3,2 (2)(V1) ○◎による (横6,3,2)

⑤ 混和材



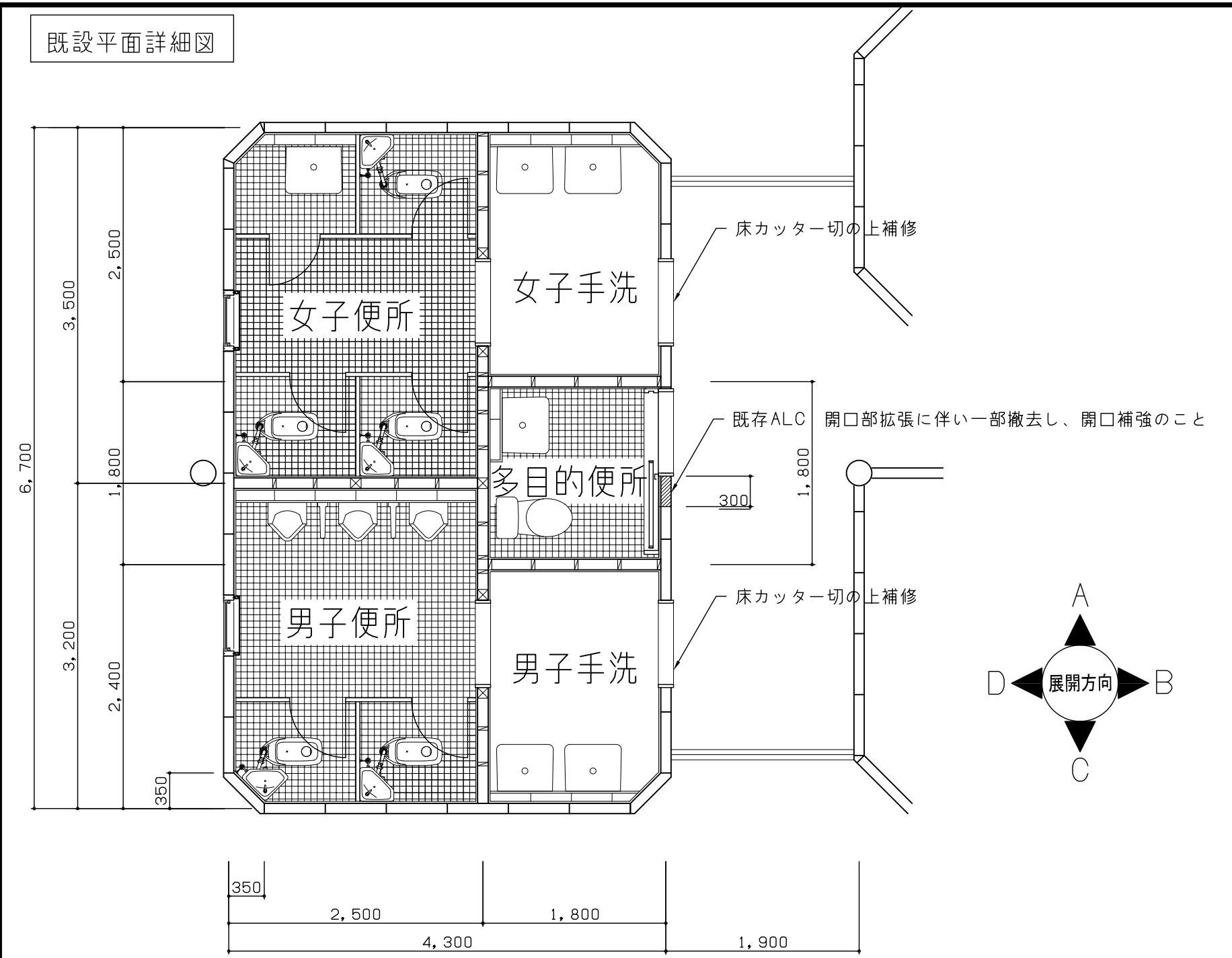




既設外部仕上げ表					
部 位	記 号	内 容	部 位	記 号	内 容
(H29年改修)	A	ガルバリウム鋼板横段葺き (カバー工法)	外 壁	D	1 F : ALC版ア100 複層塗材E ローラー塗
		下地: 耐水合板ア12 コムスファルトルーフィング940		E	2 F : 縦木胴縁組 (幅45×厚18@455)・窯業系サイディング張り
		SUS雪止めアングル新設 (250箇所)			出隅役物: (旭トステム外装株式会社 AT-WALL15PラスティウッドP 同等品以上)
軒 裏	B	1 F : コンクリート打放し仕上げ 外装薄塗材E			仕様: 厚15横張り 透湿防水紙 シーリング共 寸法455×3,030金具留め
	C	2 F : LGS下地 GB-S 79.5張りの上EP塗装 塩ビ廻り縁			

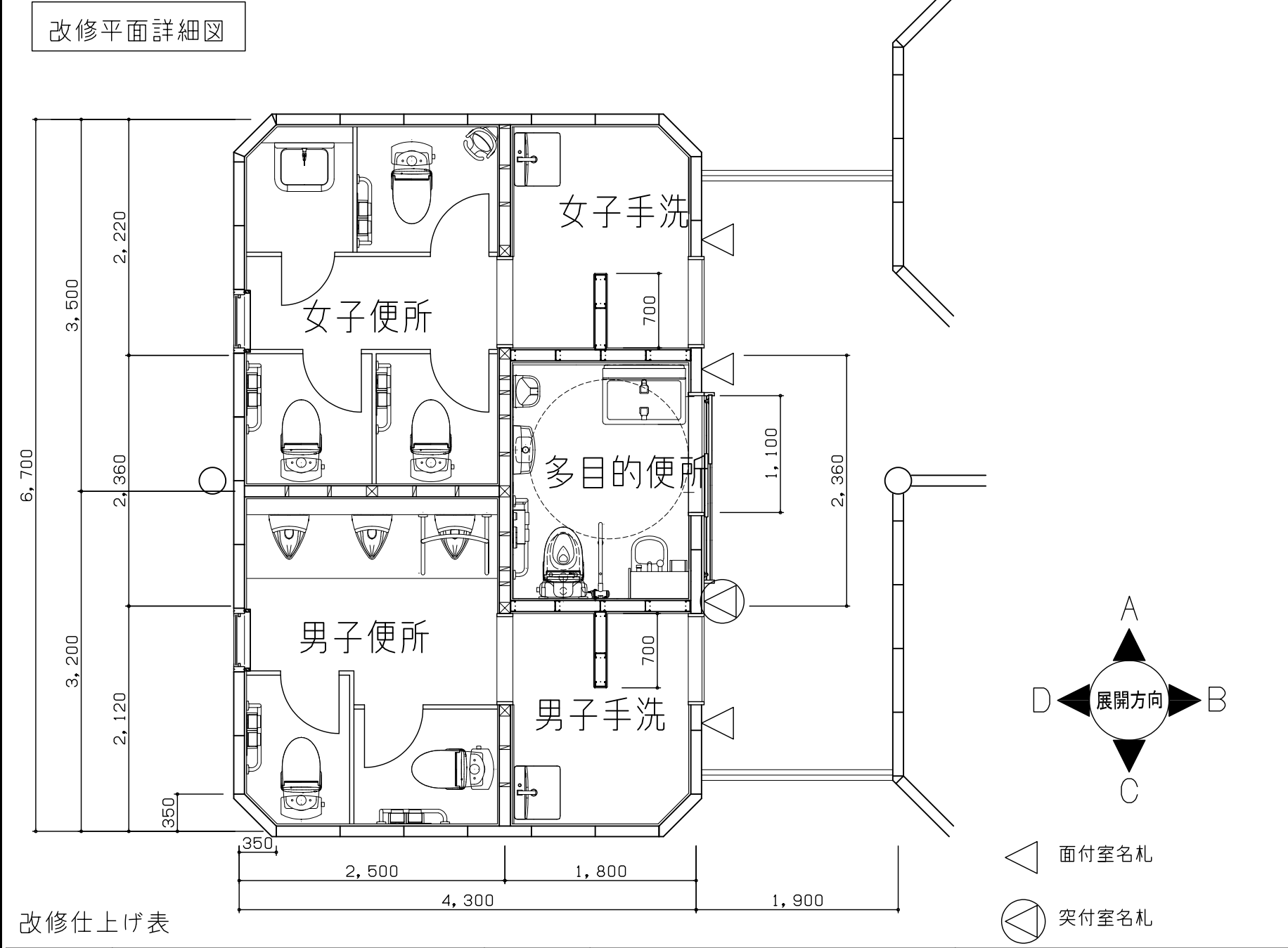
## 安全対策ワイヤー設置工事

- ①:既存アルミ 帆立貫通の上アイボルト取付 (取付ピッチ ②1,600程度)  
アイボルトM12 長ナット 全ネジボルトL-100 ナット等 カラーSUSプレート100×200 SUSワイヤーφ10
- ②:既存壁貫通の上アイボルト取付 (取付ピッチ ③3,000程度)  
アイボルトM12 長ナット 全ネジボルトL-200 ナット等 カラーSUSプレート100×200 SUSワイヤーφ10
- ※ 既存壁下地確認の上施工のこと。
- ※ 貫通部 防水ブチルテープ及びコーキング等にて止水処理のこと。



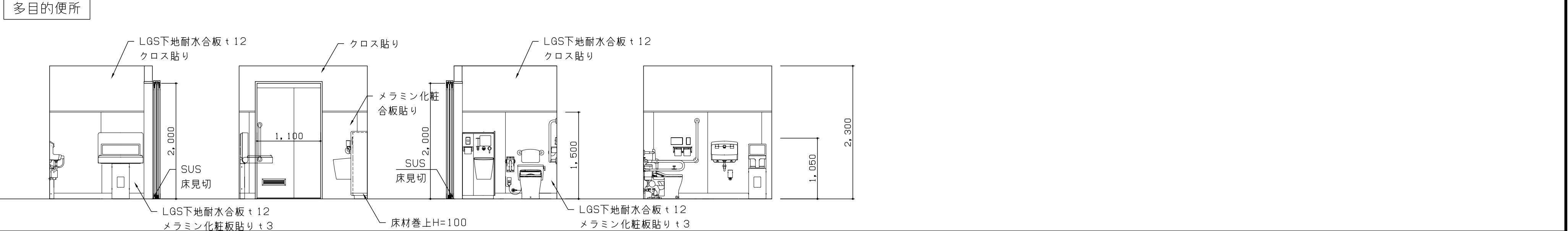
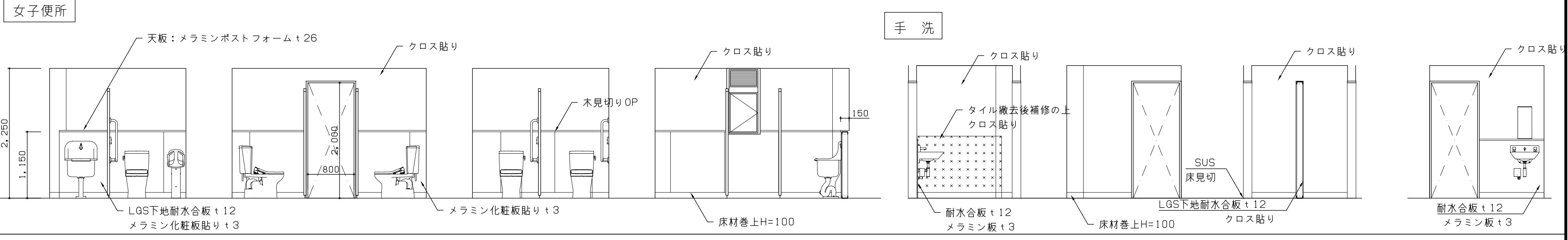
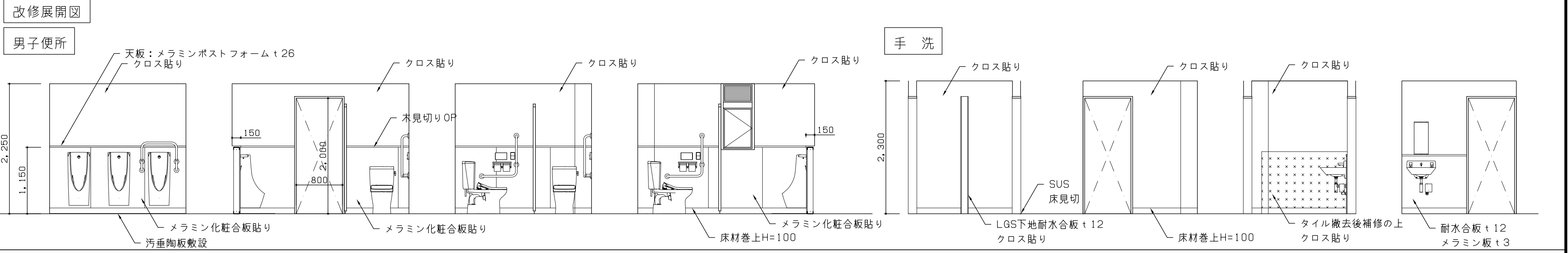
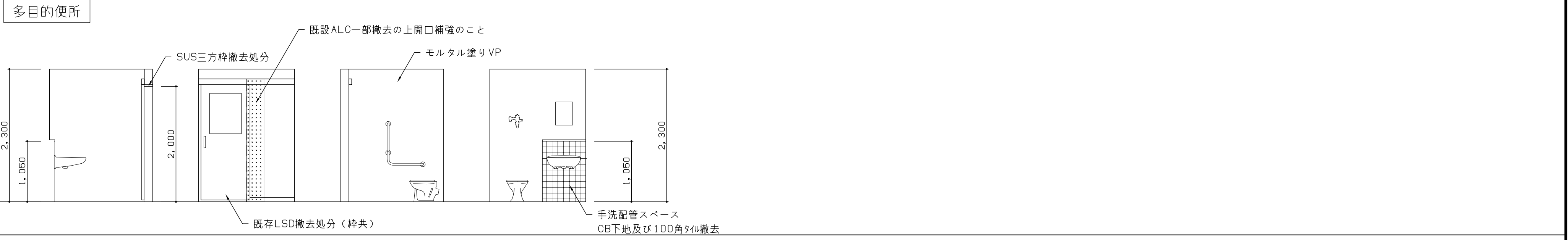
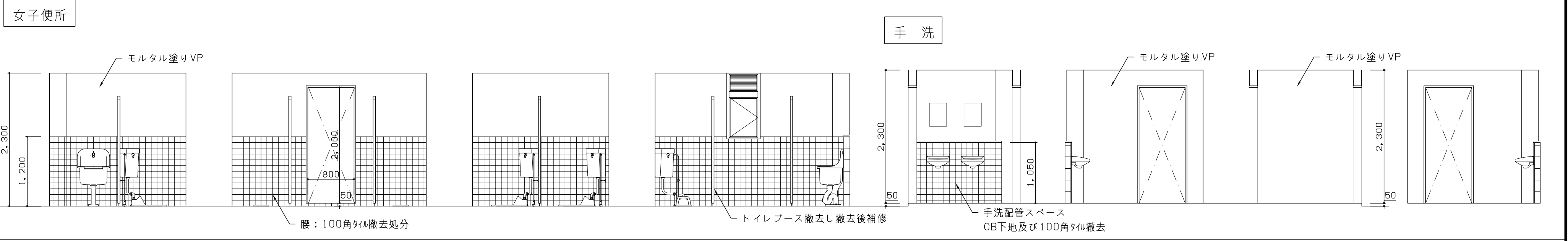
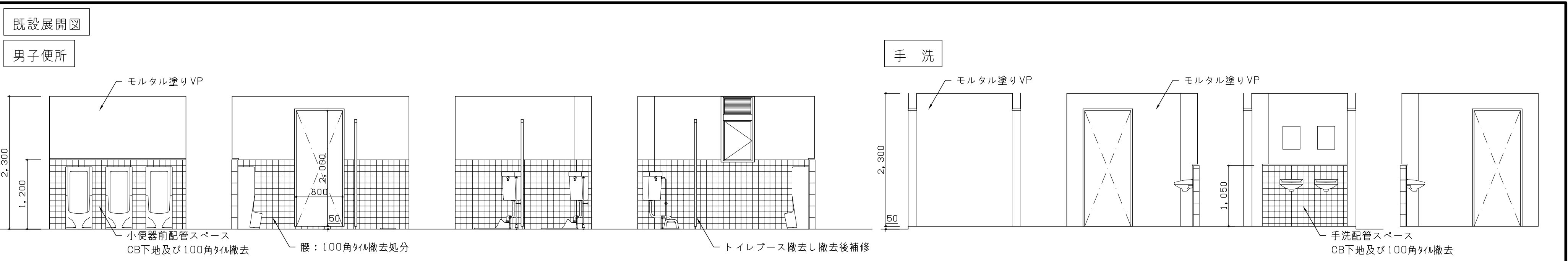
既設仕上表

室名	床	巾木	壁（腰）	天井
男女便所 手洗	男女便所 50角モザイクタイル ：土間コン共撤去 手洗 モルタル及び土間コン共撤去	-	壁：モルタル金コテVP塗装 腰：100角タイル貼り（H=1200） 撤去処分 CB造配管スペース及び面台等全て撤去処分	化粧石膏ボード t9 下地LGS共撤去処分
多目的 便所	50角モザイクタイル ：土間コン共撤去	-	壁：モルタル金コテVP塗装 腰：100角タイル貼り（H=1200） 撤去処分 CB造配管スペース及び面台等全て撤去処分 ※A、C面は木下地+ラズボード共撤去処分	化粧石膏ボード t9 下地LGS共撤去処分



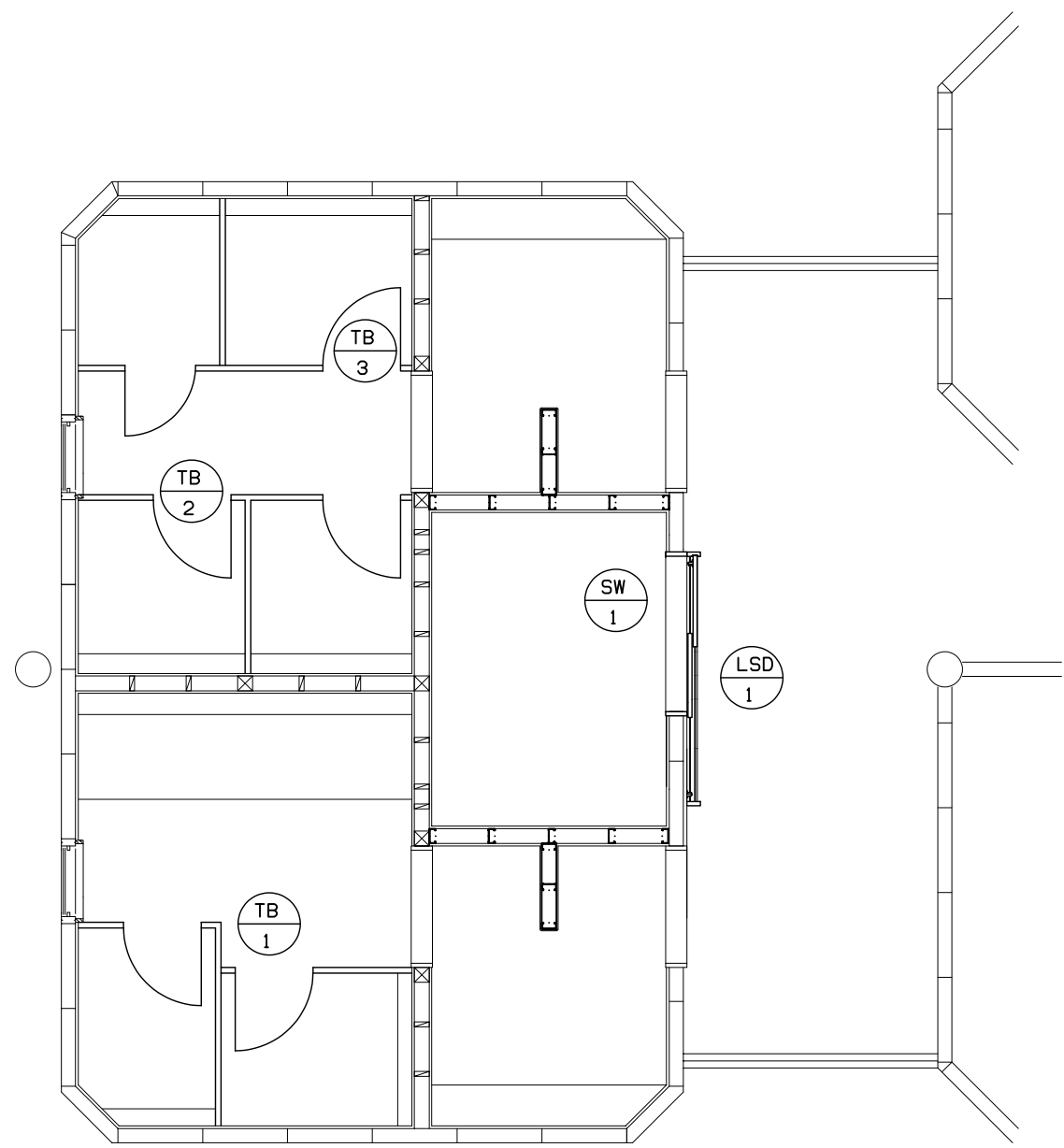
改修仕上表

室名	床	巾木	壁（腰）	天井
男女便所 手洗	トイレ用防滑性t2.0床シート貼 t2.0 セフレベリング t10. 土間コン t150、再生砕石 t150 土間配筋 D10 φ150 シングル 小便器前汚垂れ陶板敷設 D=600 テーパー加工共 入口 SUS床見切り設置 W=26	床材巻上 H=100 コ型押え 見切り	壁： ：既設一部補修の上クロス貼り 木見切り（杉26×20）OP塗 腰： ：下地補修の上メラミン化粧板貼り t3 新設壁面 ：LGS下地、耐水合板A12下地	LGS下地化粧石膏ボード t9.5新設 塩ビ廻り縁新設 天井点検口新設（男女便所）2ヶ所
多目的 便所	トイレ用防滑性t2.0床シート貼 t2.0 セフレベリング t10. 土間コン t150、再生砕石 t150 土間配筋 D10 φ150 シングル 入口 SUS床見切り設置 W=26	床材巻上 H=100 コ型押え 見切り	壁： ：既設一部補修の上クロス貼り 木見切り（杉26×20）OP塗 腰： ：下地補修の上メラミン化粧板貼り t3 新設壁面 ：LGS下地、耐水合板A12下地	LGS下地化粧石膏ボード t9.5新設 塩ビ廻り縁新設 天井点検口新設 1ヶ所

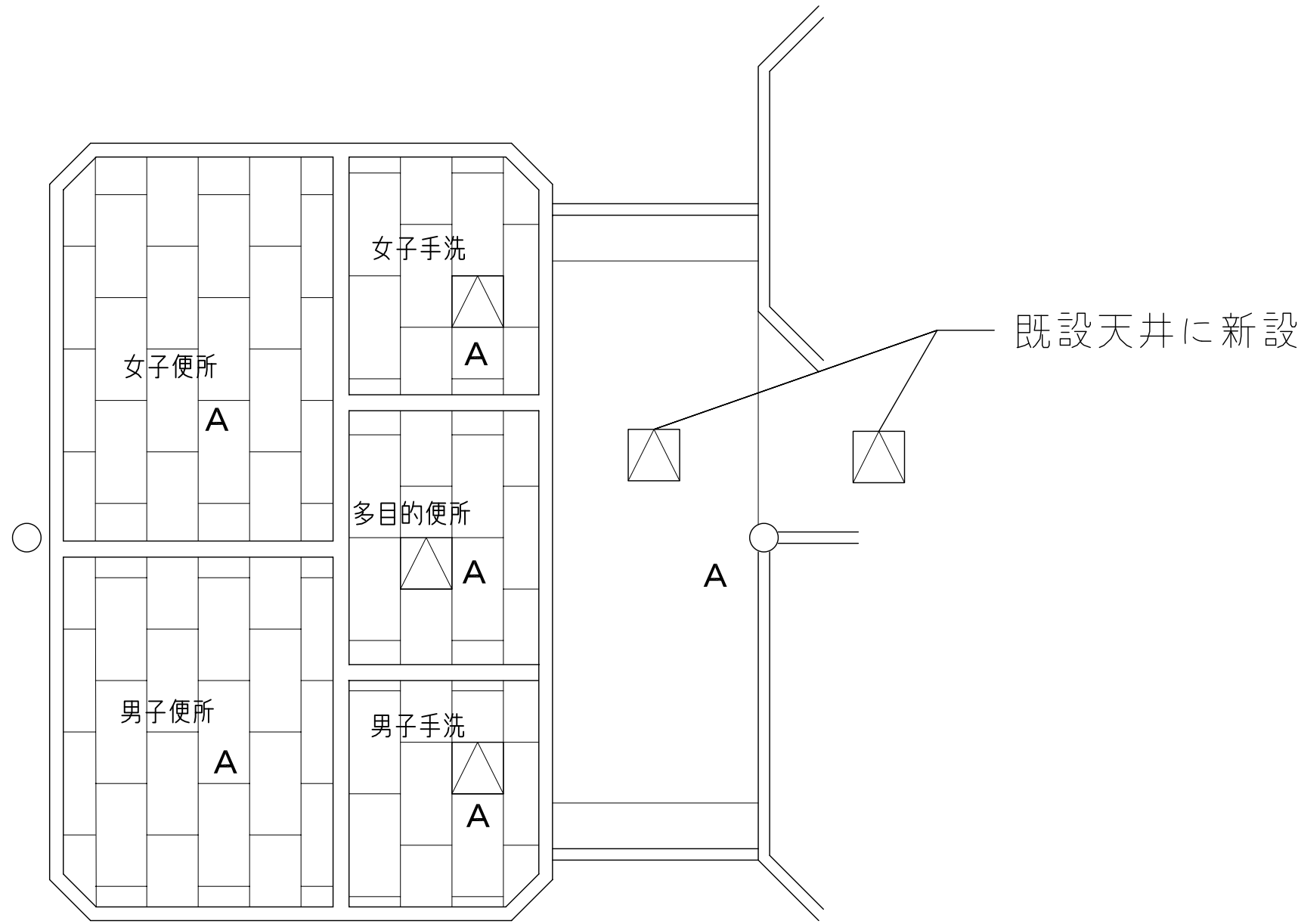




建具配置図



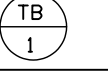
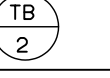
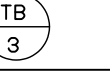
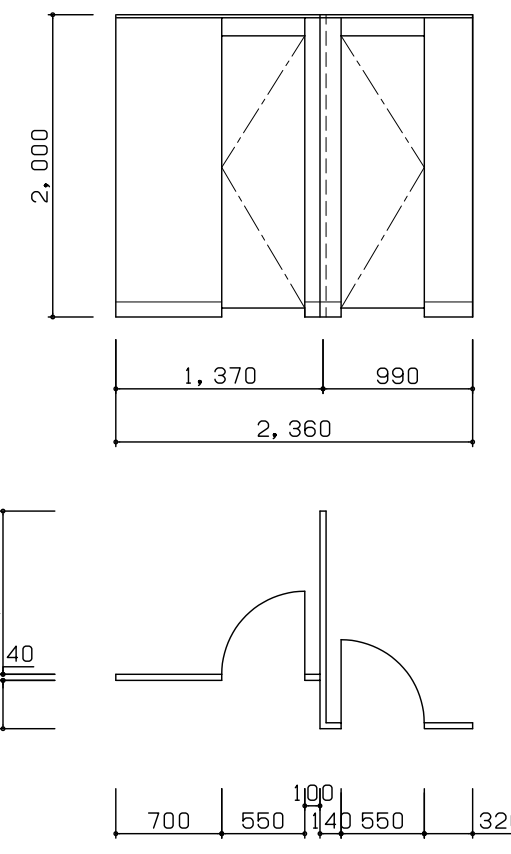
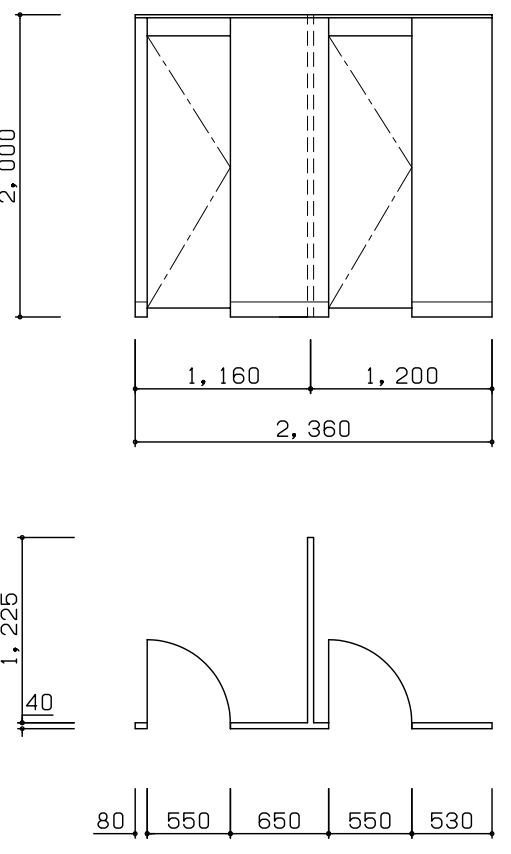
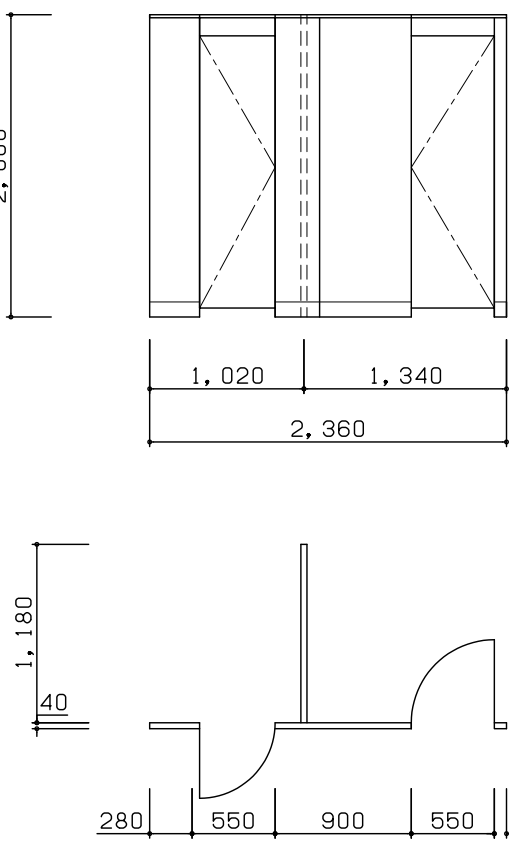
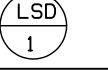
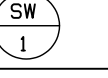
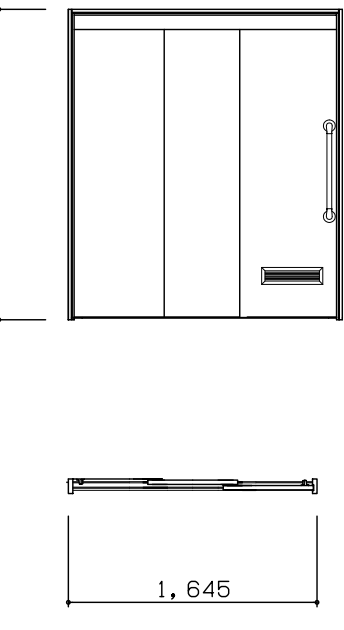
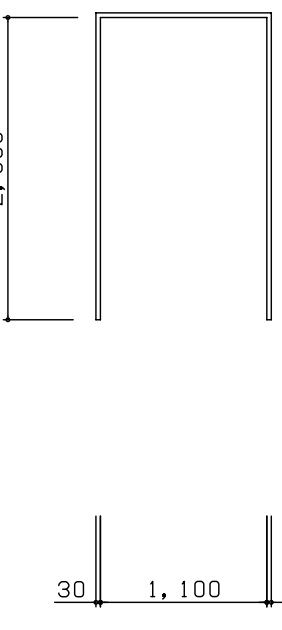
天井伏せ図



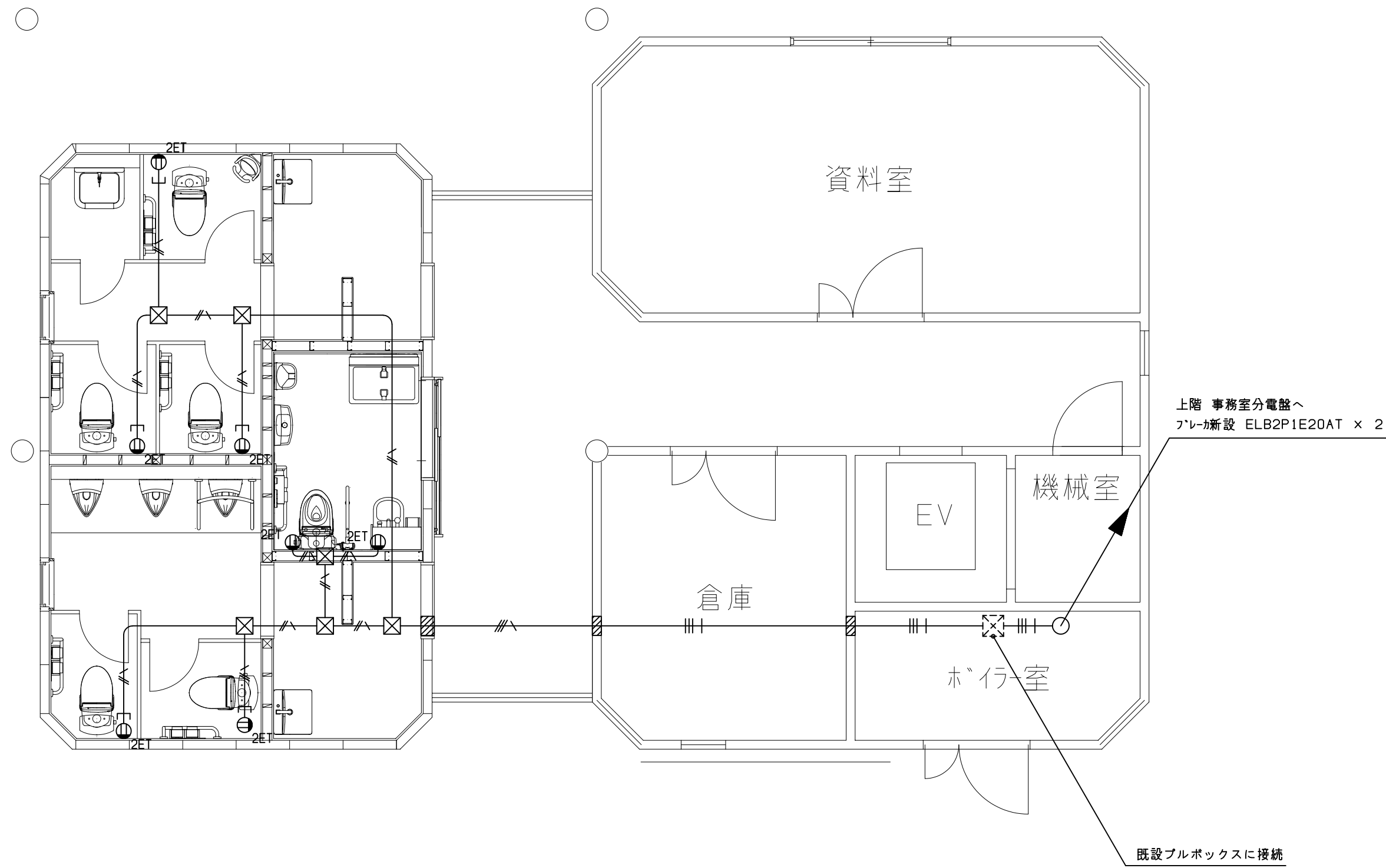
既設天井仕上げ凡例	
記号	仕上げ材
A	化粧石膏ボード（トラバーチン）79 撤去処分 塩ビ廻り縁共 （ 分析必要建材 ）

改修天井仕上げ凡例	
記号	仕上げ材
A	化粧石膏ボード（ジプトーン）79.5新設 塩ビ廻り縁共
	天井点検口新設 4 5 0 角 5 か所

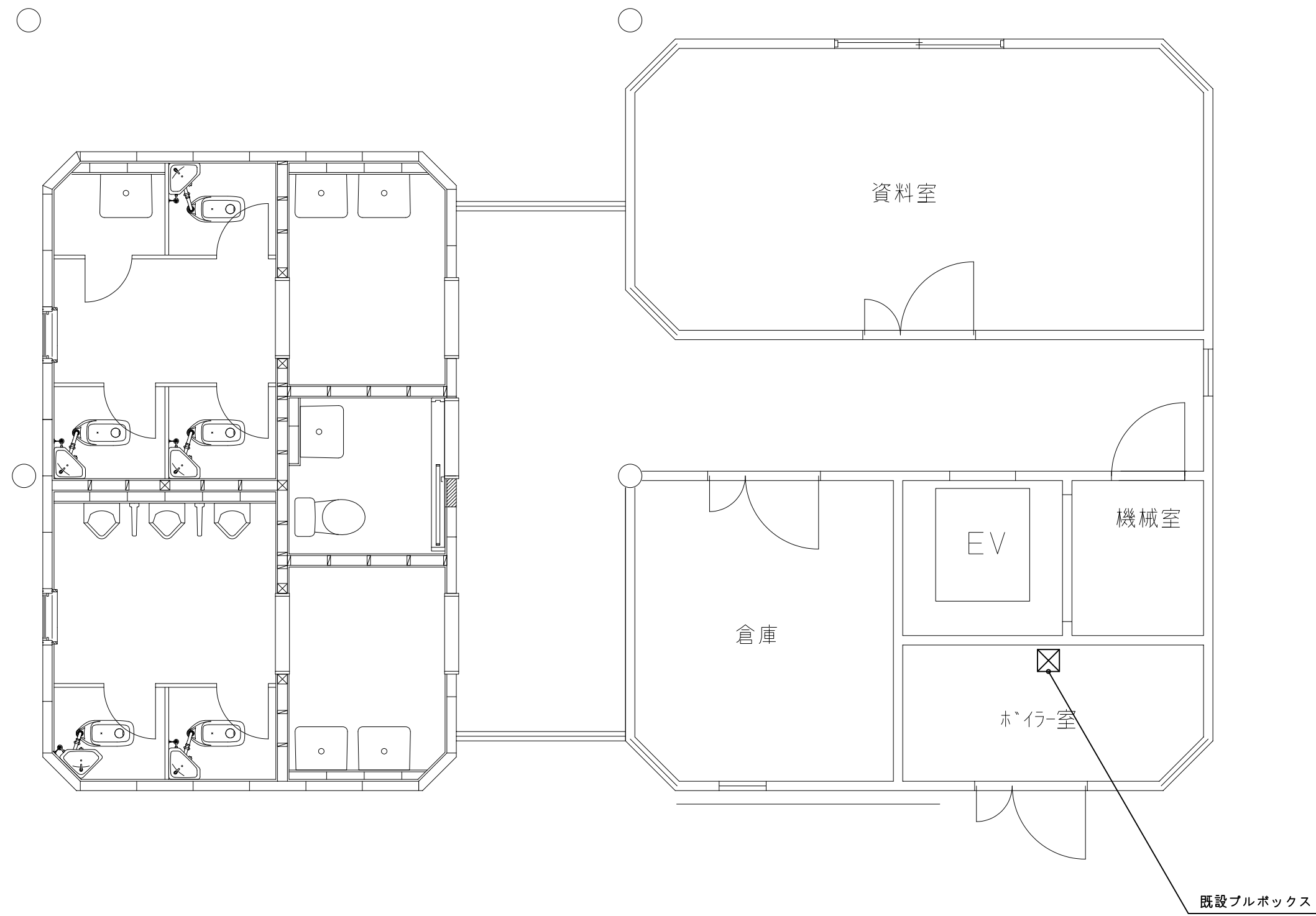
新設建具

記号・数量	 1ヶ所	 1ヶ所	 1ヶ所
形 状			
室 名	男子便所	女子便所	女子便所
材 質	ハニカム芯メラミンフラッシュ	ハニカム芯メラミンフラッシュ	ハニカム芯メラミンフラッシュ
見 込 み	40mm	40mm	40mm
金 物	表示錠、戸当り、アルミエッジ、丁番3枚 ステンレス巾木	表示錠、戸当り、アルミエッジ、丁番3枚 ステンレス巾木	表示錠、戸当り、アルミエッジ、丁番3枚 ステンレス巾木
記号・数量	 1ヶ所	 1ヶ所	
形 状			
室 名	多目的便所	多目的便所	
材 質	軽量スチール 粉体塗装	ステンレス HL t2.0加工	
見 込 み	90mm	150mm	
金 物	押棒、大型引き戸錠 スチール三方枠、PD、付属金物一式		

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書														
工 事	工 事 名 称		湖北野鳥センタートイレ等改修工事											
	工 事 場 所		長浜市湖北町今西											
	工 事 期 間		契約締結日の翌日より120日間											
	工事概要説明		トイレの改修工事											
概 要														
電 気 設 備 工 事 仕 様 書	1. 図面及び仕様書に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官庁官庁官務部監修公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書、公共建築設備工事標準図の最新版による。													
	No		名 称		構 造		間 敷		延面積(㎡)		床敷		備 考	
	1													
	2													
	3													
	4													
	5													
	計													
建 物 概 要	項 目		特 記 事 項											
	適 用 項 目		一般共通事項の扱い、●印を付したものを適用する。											
	■ 1 施工基準		イ 本工事は、工事請負契約書及び約款を遵守し、本特記仕様書、図面及び共ににより完全に施工する。 なお、上記相互間に相違のある場合の優先順位は記載の順序とする。 ロ 必要関係官庁への申請手続き等は、全て請負人の負担とする。 ハ 本図は工事の大事を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上、その指示に従い施工する。 ニ その他関係法規に基づき完全に施工する。											
	■ 2 監理指針		国土交通省大臣官庁官庁官務部監修電気設備工事監理指針（最新版）に準ずる。											
	■ 3 施工監理チェックリスト		施工に際し、施工手引き書である電気設備工事施工監理チェックシートに従う。											
	■ 4 完成図		竣工時に完成図を作成し、2部製本を提出する。（CADデータ共）											
	■ 5 工事写真		区 分 分類・規格 撮影枚数 部数(ネガ1枚に付) 備 考 竣工前 ｶｰﾄﾞｼｰﾂ 3・(6)7 2 状況により必要写真 工事中 ｶｰﾄﾞｼｰﾂ 2 1 必要に応じて 完成時 ｶｰﾄﾞｼｰﾂ 6・(10) 20 2 定期撮影 ｶｰﾄﾞｼｰﾂ 3・5・7 2 月末報告用											
	■ 6 技術管理		完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。工事写真は全て工事写真帳に貼付け提出する。 写真撮影は、国土交通省大臣官庁官庁官務部監修「工事写真の取り方」に準ずる。 請負人は、建築業法で定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し、技術管理に当たると共に建築主体工事、機械設備工事、その他関連工事についてその施工者と綿密な連絡をとり全工事に支障なきよう施工する。 各種下請業者、機材材料等市内で供給できるものについては、市内業者、市産品を選定することとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は、監督職員の承認を受ける。 請負人は完成検査前に主任技術者の竣工検査を受け合格すること。 （測定記録書提出）											
	■ 7 下請業者機材等の選定		各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書または保証書及びその写し各一部を提出すること。 なお、責任施工のものとは、請負契約書、施工下請業者、材料製造所連名書とする。 コンクリート部分の梁、壁、床の貫通部補強及び仕上部分の軽金属等天井下井地、同壁下地の開口部補強は建築工事とするも事前に施工図を作成し、監督職員、工事業者承認の上とする。 施工に際し、既設内取、取合いをよく調査すると共に既存施設の担当者と十分協議を行い、その機能を低下せめてはならない。											
	■ 8 検査		工事着手前に付託の状況を調査し、公費対策は工事現場まで調べる。 請負人は、建設副産物適正処理推進要綱を遵守し、建設副産物の発生を抑制および再利用の促進に努めること。											
一 般 共 通	■ 9 検査合格書等		請負人は、産業物の処理及び清掃に関する法律第31、マニフェストシステムにより的確に実施することとし、事前に監督職員へ施工計画書を提出し、承認を得ること。 引渡を要するもの：											
	■ 10 建築工事との取合い													
	■ 11 既存設備関係													
	■ 12 公費対策													
	■ 13 建設副産物の適正処理													
	■ 14 産業廃棄物の処理等													
	■ 15 発生材の処理													
	■ 16 石綿含有建材の事前調査制度		1. 石綿障害予防規則および大気汚染防止法に基づき、石綿に係る事前調査結果の報告(石綿事前調査結果報告システム等を利用)を行うこと。(報告先：労働基準監督署、県環境事務所) 2. 調査結果は公衆の見やすい場所に作業開始前日に掲示すること。 掲示紙サイズ： A3サイズ(42.0cm×29.7cm)以上 3. 監督職員に調査の結果を報告し、設計図書と内容が異なる場合は協議を行うこと。 4. その他 調査範囲 ○当該施工範囲 ○図示 調査書類 ○建設当初図面 ○石綿調査報告書											
	事 項	■ 17 保険等		請負人は、工事目的物に付する工事保険や労働災害保険及び第三者への対人賠償、対物賠償の損害を保证できる保険に加入し、その証券の写しを監督員に提出すること。 また、工事中に万一事故が発生した場合は、速やかに監督員に連絡すること。 規模 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号 ○設けなし 備品 机、いす、書棚、黒板、製図板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、請負者加入電話の子機、衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示による。 工事車輛の出入りについては、危険防止に努めること。又、必要に応じて交通整理員を配置すると共に、近隣家屋に騒音、振動等公害発生をなき様留意し、全般に支障なき様万全の策を講ずること。 また、施設運営についても、担当者との協議を行い支障なき様に努めること。 労働安全衛生法第30条第2項の総括安全衛生管理職務者には、（ 建築工事 電気設備工事 機械設備工事 ）の請負人を指名する。										
		■ 18 監督職員事務所												
■ 19 安全対策														
■ 20 統括安全衛生管理職務者														
■ 21 別途工事との連絡協議		請負人は、工事別の業者間で互いに連絡をとり、定期的に協議会を行い、工事施工上の調整を図ること。 また、工事区分の取合について図示あるも、施工時に必要に応じて協議を行い連絡を密にすること。 シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止すると共に、保管数量についても作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うこととする。												
■ 22 シンナー等の保管管理														
■ 23 フロンの回収等		冷暖房にフロンを使用している機器の撤去においては、メーカー等によりフロンを金量回収し、大気放出をしない処理を行うこと。また、施工に当たっては特定フロンを使用した材料、工法を用いないこと。												
■ 24 工事カルテの作成登録		請負人は、工事実績情報(CORINS)の登録を行い、(財)日本建築情報センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを提出すること。												
■ 25 施工地止点核		「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」により、請負者は市担当者が行う施工地止点核を受けなければならない。また、指摘ある施工体制の不備は速やかに是正し、担当者に報告すること。												
■ 26 通線軌の防止措置		請負人は通線軌等の違法運行防止を図り、道路交通法を遵守すること。												
共 通	■ 27 技術検査		工事施工中において、適宜中間技術検査を実施する。											
	■ 28 施工上の留意事項等		イ 電線管について、図示ない限り屋内露出配管はねじなし電線管（E管）、屋内いんべい配管は合成樹脂製可とう電線管（P管）、屋外露出配管は導電電線管（CP管）、屋外埋設配管は炭付硬質ポリエチレン管（FRP管）を使用する。 なお、高圧配線の地中埋設配管については、ポリエチレンライニング電線管（PE管）とする。 ロ 図示ない限り配線器具プレートは新金風製またはステンレス製とする。 ハ スイッチで多数ある場合には監督職員と協議し、ホームスイッチを使用する。 ニ 建物E×P部分及び機器接続箇所を使用する可とう電線管は、ビニル被覆付きとする。 ホ 照明器具は省エネ型（低消費ランプ、巻線鉄心材料を改良した低消費安定器）器具及び公共施設用照明器具とする。 ヘ 将来用予備空配管には、ビニル被覆鉄線(1.6mm)を入線し、名札を取付ける。 ト プルボックスは工場製作品を使用する。 チ 図示ない限り露出配管は、全て塗装する。《機械室、電気室内の塗装 (●)・否(X)EPS、共同溝内の塗装 要(◎)》 リ 露出配管を行う場合は、施工前に素地をこしらえ(エッチングプライマー等)と下塗りを行い、配管施工後に仕上げ塗装を行う。 ス 機器給付・設置については、「建築設備耐震設計・施工指針」に準ずる。 ル 当該工事において、既設配管、既設埋設配管があった場合は、監督職員の指示により迂回等の工事を行い、軽微なものは本工事内とする。また、撤去工事は、特に既設配線の先行を調査確認の上、安全に処理する。 「再生資源の利用の促進に関する法律」（リサイクル法）に定められている「再生資源利用計画書（実施書）」および「再生資源利用促進計画書（実施書）」を指定日までにFIDに提出のこと。 ノッチタンク等の配置により、漏った水等を敷地外に排水することのないよう処理すること。 低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定された建設機械を使用すること。											
	■ 29 再生資源利用計画書													
	■ 30 工事用排水													
	■ 31 騒音振動の防止													
	■ 32 建設リサイクル法の遵守		本工事については「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)」および設置費の実施に関する指針を遵守し施工すること。											
	■ 33 各種届出		施工にあたっては、本工事にかかわる関係官公庁に関する一切の申請・協議書類作成ならびに、手続きを遅滞なく行うこと。また、それに必要な費用はすべて請負者の負担とする。											
	■ 34 仮設電力料料金等		本工事に必要な仮設電力、ガス、水道等の引込工事費、負担金、基本料金、使用料金等は引渡し日まで原則として請負人の負担とする。											
	■ 35 現場代理人		イ 「長浜市現場代理人の常駐に関する運用基準」(H28.7.1)に従い、現場代理人を決定し届け出ること。 ロ 現場代理人は、監督員に請負人との直接的な雇用関係の確認出来るもの（健康保険証の写し等）を「現場代理人等届」に添付しなければならない。また、変更が生じた場合は速やかに「現場代理人等変更届け出」を提出し同様の確認を受けなければならない。 ハ 主任（監理）技術者も同様の確認を受けなければならない。 ニ 現場代理人と主任技術者または監理技術者を兼ねることができる。 ホ 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 1. 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 2. 工事請負契約書（以下「契約書」という）第28条第1項の規定に基づき完了した旨の報告を受け、監督員が完了確認した翌日から契約期間満了までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 「産業廃棄物収集運搬車」の表示及び警備入れ付け確認のため、証拠写真を提出すること。 設計図書に明記なくとも機械上、構造上当然必要と認められる軽微な変更及び追加工事については、請負金額の増減対象としない。 長浜市の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について (不当介入に関する通報制度)の徹底について 1. 請負者(請負人又は受注者)は、暴力団員等(暴力団の構成員及び暴力団関係者、その他発注工事等に対して不当介入をしようとするすべての者を指す。)による不当介入(不当な要求又は差別的妨害)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、検査上必要な協力を行うものとする。 2. 請負者は前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書(別紙様式1号)により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。 また、請負者は、以上のことについて、下請負人(再委託の協力者を含む)に対して、十分に指導を行うものとする。 3. 請負者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。											
	種 目	■ 36 運搬車表示												
■ 37 軽微な変更														
■ 38 不当要求														
■ 1 高低圧引込設備		種目 適用 項 目 特 記 事 項 1 高低圧引込設備 電気方式 施工方法 使用電線 検査 ○3相3線式6,600V ○3相3線式210V ○単相3線式210/105V ○地中 ○架空 ○8kV CV ○8kV EM-CET ○8kV PDC ○600V EM-CE ○600V EM-CET ○600V EM-1E ○完成検査前に主任技術者の竣工検査を受け合格すること。 （測定記録書提出）												
■ 2 高低圧引込設備		種目 適用 項 目 特 記 事 項 2 高低圧引込設備 電気方式 形式 配電盤 変圧器 母線 付属品・予備品 検査 1次側 3相3線式6,600V 2次側 3相3線式210V、単相3線式210/105V ○屋内型・ねじり型 ○屋外型・ねじり型 ○フレーム独立周立架設型 ○高圧配電盤 ○低圧配電盤 別紙による。 OKIP ○PDC ○銅線 ○電力ヒューズ（1組） ○フック棒 ○完成検査前に主任技術者の竣工検査を受け合格すること。 （測定記録書提出）												
■ 3 高低圧引込設備														
■ 4 高低圧引込設備														
■ 5 高低圧引込設備														
■ 6 高低圧引込設備														
■ 7 高低圧引込設備														
種 目	■ 8 高低圧引込設備													
	■ 9 高低圧引込設備													
	■ 10 高低圧引込設備													
	■ 11 高低圧引込設備													
	■ 12 高低圧引込設備													
	■ 13 高低圧引込設備													
	■ 14 高低圧引込設備													
	■ 15 高低圧引込設備													
	■ 16 高低圧引込設備													
	■ 17 高低圧引込設備													
種 目	■ 18 高低圧引込設備													
	■ 19 高低圧引込設備													
	■ 20 高低圧引込設備													
	■ 21 高低圧引込設備													
	■ 22 高低圧引込設備													
	■ 23 高低圧引込設備													
	■ 24 高低圧引込設備													
	■ 25 高低圧引込設備													
	■ 26 高低圧引込設備													
	■ 27 高低圧引込設備													
種 目	■ 28 高低圧引込設備													
	■ 29 高低圧引込設備													
	■ 30 高低圧引込設備													
	■ 31 高低圧引込設備													
	■ 32 高低圧引込設備													
	■ 33 高低圧引込設備													
	■ 34 高低圧引込設備													
	■ 35 高低圧引込設備													
	■ 36 高低圧引込設備													
	■ 37 高低圧引込設備													
種 目	■ 38 高低圧引込設備													
	■ 39 高低圧引込設備													
	■ 40 高低圧引込設備													
	■ 41 高低圧引込設備													
	■ 42 高低圧引込設備													
	■ 43 高低圧引込設備													
	■ 44 高低圧引込設備													
	■ 45 高低圧引込設備													
	■ 46 高低圧引込設備													
	■ 47 高低圧引込設備													
種 目	■ 48 高低圧引込設備													
	■ 49 高低圧引込設備													
	■ 50 高低圧引込設備													
	■ 51 高低圧引込設備													
	■ 52 高低圧引込設備													
	■ 53 高低圧引込設備													
	■ 54 高低圧引込設備													
	■ 55 高低圧引込設備													
	■ 56 高低圧引込設備													
	■ 57 高低圧引込設備													
種 目	■ 58 高低圧引込設備													
	■ 59 高低圧引込設備													
	■ 60 高低圧引込設備													
	■ 61 高低圧引込設備													
	■ 62 高低圧引込設備													
	■ 63 高低圧引込設備													
	■ 64 高低圧引込設備													
	■ 65 高低圧引込設備													
	■ 66 高低圧引込設備													
	■ 67 高低圧引込設備													
種 目	■ 68 高低圧引込設備													
	■ 69 高低圧引込設備													
	■ 70 高低圧引込設備													
	■ 71 高低圧引込設備													
	■ 72 高低圧引込設備													
	■ 73 高低圧引込設備													
	■ 74 高低圧引込設備													
	■ 75 高低圧引込設備													
	■ 76 高低圧引込設備													
	■ 77 高低圧引込設備													
種 目	■ 78 高低圧引込設備													
	■ 79 高低圧引込設備													
	■ 80 高低圧引込設備													
	■ 81 高低圧引込設備													
	■ 82 高低圧引込設備													
	■ 83 高低圧引込設備													
	■ 84 高低圧引込設備													
	■ 85 高低圧引込設備													
	■ 86 高低圧引込設備													
	■ 87 高低圧引込設備													
種 目	■ 88 高低圧引込設備													
	■ 89 高低圧引込設備													
	■ 90 高低圧引込設備													
	■ 91 高低圧引込設備													
	■ 92 高低圧引込設備													
	■ 93 高低圧引込設備													
	■ 94 高低圧引込設備													
	■ 95 高低圧引込設備													
	■ 96 高低圧引込設備													
	■ 97 高低圧引込設備													
種 目	■ 98 高低圧引込設備													
	■ 99 高低圧引込設備													
	■ 100 高低圧引込設備													
	■ 101 高低圧引込設備													
	■ 102 高低圧引込設備													
	■ 103 高低圧引込設備													
	■ 104 高低圧引込設備													
	■ 105 高低圧引込設備													
	■ 106 高低圧引込設備													
	■ 107 高低圧引込設備													
種 目	■ 108 高低圧引込設備													
	■ 109 高低圧引込設備													
	■ 110 高低圧引込設備													
	■ 111 高低圧引込設備													
	■ 112 高低圧引込設備													
	■ 113 高低圧引込設備													
	■ 114 高低圧引込設備													
	■ 115 高低圧引込設備													
	■ 116 高低圧引込設備													
	■ 117 高低圧引込設備													
種 目	■ 118 高低圧引込設備													
	■ 119 高低圧引込設備													
	■ 120 高低圧引込設備													
	■ 121 高低圧引込設備													
	■ 122 高低圧引込設備													
	■ 123 高低圧引込設備													
	■ 124 高低圧引込設備													
	■ 125 高低圧引込設備													
	■ 126 高低圧引込設備													
	■ 127 高低圧引込設備													
種 目	■ 128 高低圧引込設備													
	■ 129 高低圧引込設備													
	■ 130 高低圧引込設備													
	■ 131 高低圧引込設備													
	■ 132 高低圧引込設備													
	■ 133 高低圧引込設備													
	■ 134 高低圧引込設備													
	■ 135 高低圧引込設備													
	■ 136 高低圧引込設備													
	■ 137 高低圧引込設備													
種 目	■ 138 高低圧引込設備													
	■ 139 高低圧引込設備													
	■ 140 高低圧引込設備													
	■ 141 高低圧引込設備													
	■ 142 高低圧引込設備													
	■ 143 高低圧引込設備													
	■ 144 高低圧引込設備													
	■ 145 高低圧引込設備													
	■ 146 高低圧引込設備													
	■ 147 高低圧引込設備													
種 目	■ 148 高低圧引込設備													
	■ 149 高低圧引込設備													
	■ 150 高低圧引込設備													
	■ 151 高低圧引込設備													
	■ 152 高低圧引込設備													
	■ 153 高低圧引込設備													
	■ 154 高低圧引込設備													
	■ 155 高低圧引込設備													
	■ 156 高低圧引込設備													
	■ 157 高低圧引込設備													
種 目	■ 158 高低圧引込設備													
	■ 159 高低圧引込設備													
	■ 160 高低圧引込設備													
	■ 161 高低圧引込設備													
	■ 162 高低圧引込設備													
	■ 163 高低圧引込設備													
	■ 164 高低圧引込設備													
	■ 165 高低圧引込設備													
	■ 166 高低圧引込設備													
	■ 167 高低圧引込設備													
種 目	■ 168 高低圧引込設備													
	■ 169 高低圧引込設備													
	■ 170 高低圧引込設備													
	■ 171 高低圧引込設備													
	■ 172 高低圧引込設備													
	■ 173 高低圧引込設備													
	■ 174 高低圧引込設備													
	■ 175 高低圧引込設備													
	■ 176 高低圧引込設備													
	■ 177 高低圧引込設備													
種 目	■ 178 高低圧引込設備													
	■ 179 高低圧引込設備													
	■ 180 高低圧引込設備													
	■ 181 高低圧引込設備													
	■ 182 高低圧引込設備													
	■ 183 高低圧引込設備													
	■ 184 高低圧引込設備													
	■ 185 高低圧引込設備													
	■ 186 高低圧引込設備													
	■ 187 高低圧引込設備													
種 目	■ 188 高低圧引込設備													
	■ 189 高低圧引込設備													
	■ 190 高低圧引込設備													
	■ 191 高低圧引込設備													
	■ 192 高低圧引込設備													
	■ 193 高低圧引込設備													
	■ 194 高低圧引込設備													
	■ 195 高低圧引込設備													
	■ 196 高低圧引込設備													
	■ 197 高低圧引込設備													
種 目	■ 198 高低圧引込設備													
	■ 199 高低圧引込設備													
	■ 200 高低圧引込設備													
	■ 201 高低圧引込設備													
	■ 202 高低圧引込設備													
	■ 203 高低圧引込設備													
	■ 204 高低圧引込設備													
	■ 205 高低圧引込設備													
	■ 206 高低圧引込設備													
	■ 207 高低圧引込設備													
種 目	■ 208 高低圧引込設備													
	■ 209 高低圧引込設備													
	■ 210 高低圧引込設備													
	■ 211 高低圧引込設備													
	■ 212 高低圧引込設備													
	■ 213 高低圧引込設備													
	■ 214 高低圧引込設備													
	■ 215 高低圧引込設備													
	■ 216 高低圧引込設備													
	■ 217 高低圧引込設備													
種 目	■ 218 高低圧引込設備													
	■ 219													

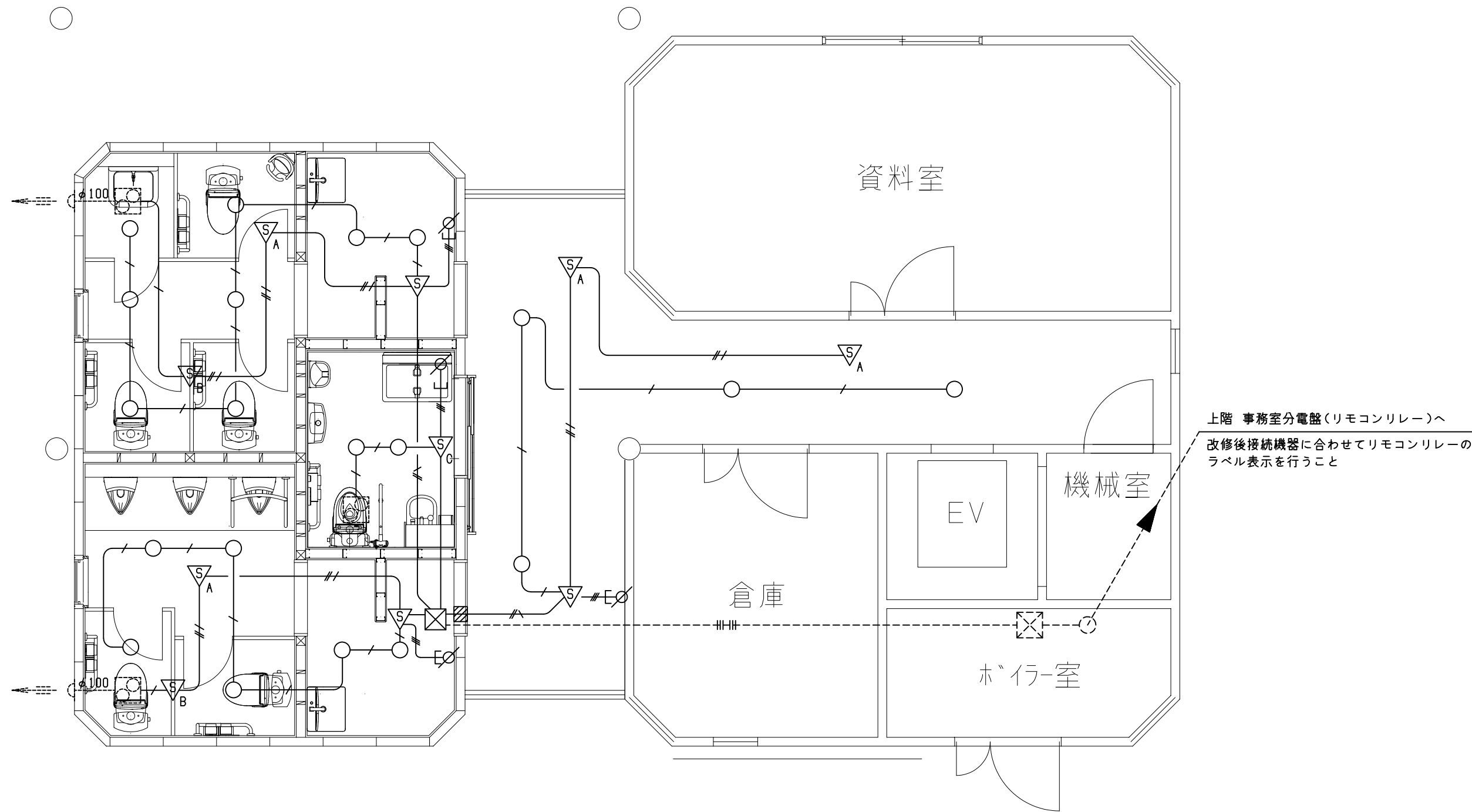


改修後トイレ 平面詳細図



現況トイレ 平面詳細図

凡例・その他	
特 記 事 項	
	埋込コンセント 2P15A×2 接地端子付
	アウトレットBOX
	EM-EEF 2,0 - 30 天井内コログシ配線 壁内保護PF(16)
	EM-EEF 2,0 - 30 ×2 天井内コログシ配線
	EM-EEF 2,0 - 30 ×2 E(31)
	壁貫通
埋込コンセントは天井より露出立下り(メタルモールA型)とする。	



改修後トイレ 平面詳細図

電灯設備リスト (新設・改修)

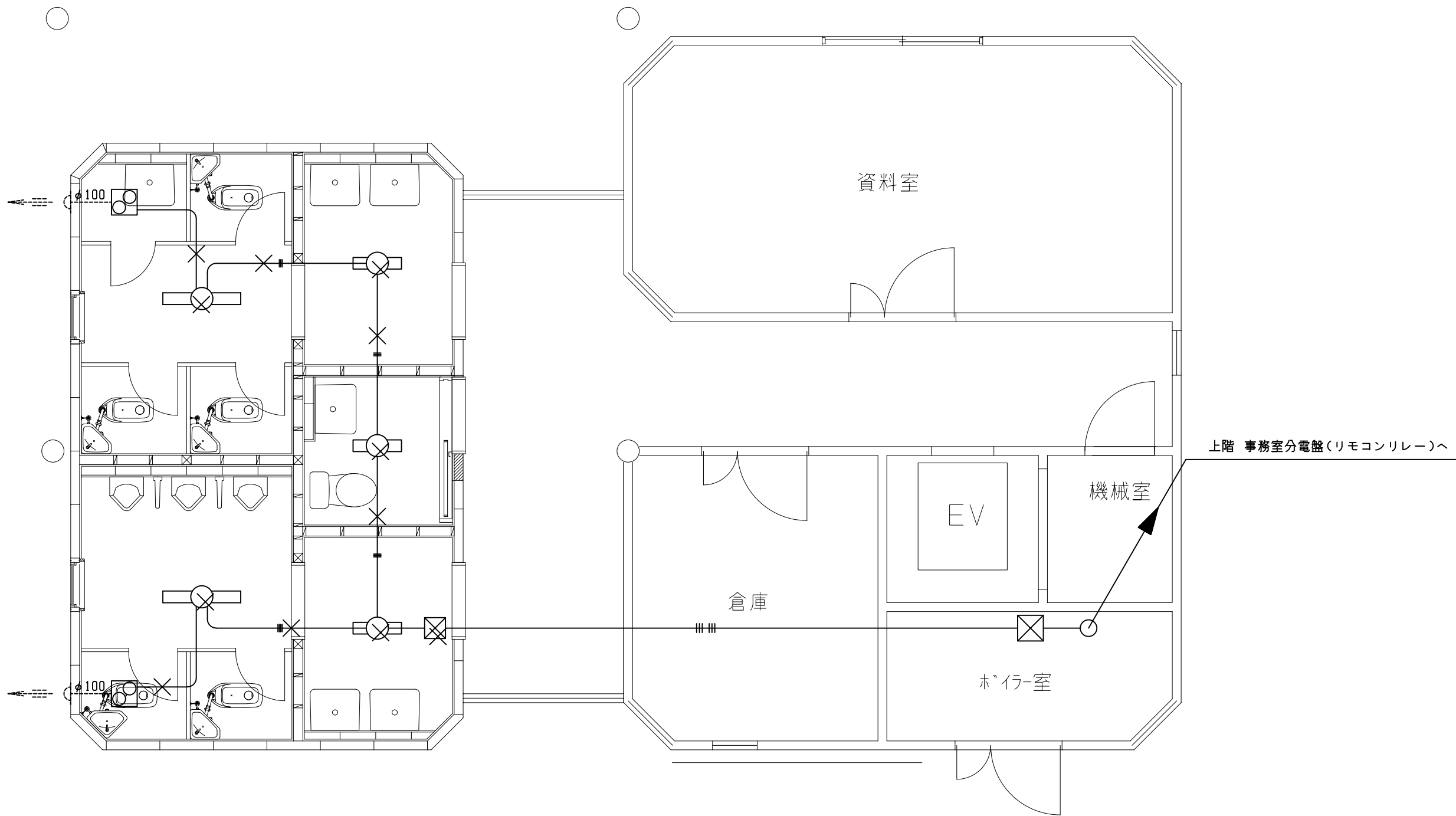
No.	名 称	仕 様 、 付 属 品 等	男子 便所	女子 便所	多目的 便所	その他	参 考 品 番
1	LEDダウンライト	埋込型、φ150、60形相当	6	8	2	4	XND0669WNLE9

配 線 特 記			
	EM-EEF 2.0 - 30(1E)	天井内コロガシ配線	
	EM-EEF 1.6 - 20 + 30(1E)	天井内コロガシ配線	
	EM-EEF 1.6 - 30(1E)	天井内コロガシ配線	
	EM-EEF 1.6 - 30	天井内コロガシ配線 壁内保護PF(16)	
	操作ユニット 15A 250V AC WTC6822W (FL+1800)		
	人感センサー(観器) 8A 100V AC WTK24818		
	人感センサー(子器) 12V DC WTK2910K		
	人感センサー(子器) 1A 100V AC WTK29318	換気扇連動用	
	人感センサー(観器) 100V AC WTK2604	換気扇連動用	
	アウトレットBOX		
	壁貫通		

操作ユニットの配線は天井より露出立下り(メタルモールA型)とする。

※天井換気扇本体は機械工事図面を参照のこと。

※アウトレットBOX内にてコンセント回路の接地線と接続のこと。



現況トイレ 平面詳細図

電灯設備リスト (撤去・処分)

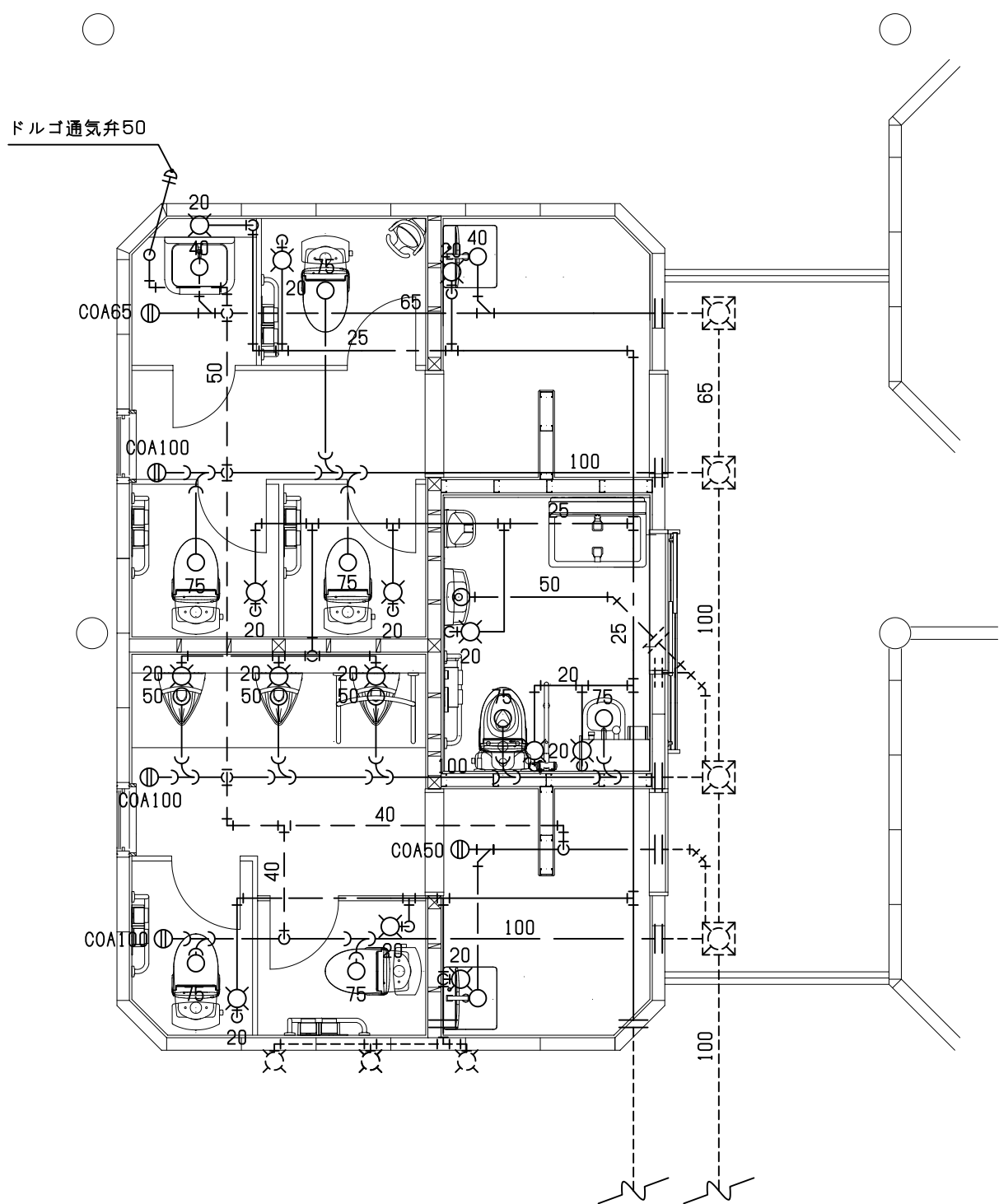
No.	名 称	仕 様 、 付 属 品 等	男子 便所	女子 便所	多目的 便所	品 番
1	ベースライト	埋込型 20W 1灯形	1	1	1	
2	ベースライト	埋込型 40W 1灯形	1	1		

配 線 特 記	
	IV 1.6 x 2 (E19)
	IV 1.6 x 3 (E19)
	IV 1.6 x 4 (E25)
	IV 1.6 x 6 (E25)
	ジョイントBOX アウトレットBOX
	撤去

※天井換気扇本体は機械工事図面を参照のこと。



機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書										
工	工 事 名 称	湖北野鳥センターイレ等改修工事		項目	特 記 事 項	種目	適用			
	工 事 場 所	長崎市湖北町今西								
事	工 事 期 間	契約締結日の翌日より120日間		種目	特 記 事 項	種目	適用			
	工事概要説明	トイレの改修工事								
概	※該当工事には適用欄に○印を附す。				2	給 水 設 備	11 暖房設備	工事範囲及び説明	空調設備の更新工事	
	適用	No	工 事 種 目	工 種						備 考
要		1	受水設備					12 冷房設備	冷温熱源機	○油焚き吸収式冷温水発生機(二重効用)、 ○水冷チリングユニット ○空冷式ヒートポンプチラーユニット (○ターボ ○スクリーン ○遠心 ○吸収 )冷凍機 ○鋼鉄製ボイラー ○鋼製ボイラー ●氷蓄熱空冷ヒートポンプ1730 ○氷蓄熱空冷ヒートポンプ1730 ○空冷式ビル用マルチポン ○ルームエアコン ○パッケージエアコン ○ファンコイルユニット ○ファンコンベクタ ○コンベクタ ○ペースボードヒータ ○床置型 ○天井吊型 ○天井埋込型 ○壁掛型 ●天井カセット型 冷温水管：○水道用垂絡めつき鋼管 ○耐熱性ビニルライニング鋼管 冷却水管：○水道用垂絡めつき鋼管 ○ビニルライニング鋼管 VA ●水道用硬質強化ビニルライニング鋼管 SGP-VA 冷媒配管：○脱酸銅管L ●断熱材被覆鋼管(国土交通省仕様) 排水配管：●硬質強化ビニル管 VP 油配管：○SUS304溶接鋼管 ○圧力配管用炭素鋼管(黒)
		※	2	給水設備		○	トイレの改修工事に伴う給水設備工事			
	※	3	排水通気設備		○	トイレの改修工事に伴う排水通気設備工事	4 衛生器具設備	衛生器具	器具リストによる。	
	※	4	衛生器具設備		○	トイレの改修工事に伴う衛生器具設備工事				5 ガス設備
		5	ガス設備				6 消火設備	試 験 ガスの種別 その他	要、不要 貸与、本工事 屋 外 配 管：●配管用炭素鋼管(白)、○ポリエチレン被覆鋼管 屋内埋設配管：○ポリエチレン被覆鋼管、○ビニル被覆鋼管 屋 内 配 管：○配管用炭素鋼管(白)、○フレキ管(SUS) 接続部のガス漏洩試験を行うこと。 ○都市ガス(13A)、●プロパンガス 埋設で合成樹脂被覆鋼管の接続は、合成樹脂被覆メカ継手、サービスコックは合成樹脂被覆ボールバルブとする。	
		6	消火設備							7 給湯設備
		7	給湯設備				8 し尿浄化槽設備	工事範囲及び説明	温水発生機 ●真空式温水発生機 ○無圧式温水発生機 ●奥式温水発生機 ○A重油 ●灯油 ○LPガス ○都市ガス(13A) ○電気 ●配管用炭素鋼管 SGP(白) ○保温付被覆鋼管(保温厚14mm以上) ●鋼管 ○水道用硬質強化ビニルライニング鋼管 SGP-VA ○耐熱強化ビニル管 HTPV 施工は標準図による。 火災予防条例の規定による届け出を行うこと。	
		8	し尿浄化槽設備							9 換気設備
		9	換気設備				10 排煙設備	構造 処理方式 容量 処理水質 その他	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		10	排煙設備							煙 設 備
		11	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		12	煙設備							煙 設 備
		13	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		14	煙設備							煙 設 備
		15	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		16	煙設備							煙 設 備
		17	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		18	煙設備							煙 設 備
		19	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		20	煙設備							煙 設 備
		21	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		22	煙設備							煙 設 備
		23	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		24	煙設備							煙 設 備
		25	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		26	煙設備							煙 設 備
		27	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		28	煙設備							煙 設 備
		29	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		30	煙設備							煙 設 備
		31	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		32	煙設備							煙 設 備
		33	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		34	煙設備							煙 設 備
		35	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		36	煙設備							煙 設 備
		37	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		38	煙設備							煙 設 備
		39	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		40	煙設備							煙 設 備
		41	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		42	煙設備							煙 設 備
		43	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		44	煙設備							煙 設 備
		45	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		46	煙設備							煙 設 備
		47	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		48	煙設備							煙 設 備
		49	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		50	煙設備							煙 設 備
		51	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		52	煙設備							煙 設 備
		53	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		54	煙設備							煙 設 備
		55	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		56	煙設備							煙 設 備
		57	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		58	煙設備							煙 設 備
		59	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		60	煙設備							煙 設 備
		61	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		62	煙設備							煙 設 備
		63	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		64	煙設備							煙 設 備
		65	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		66	煙設備							煙 設 備
		67	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		68	煙設備							煙 設 備
		69	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		70	煙設備							煙 設 備
		71	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		72	煙設備							煙 設 備
		73	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		74	煙設備							煙 設 備
		75	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		76	煙設備							煙 設 備
		77	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		78	煙設備							煙 設 備
		79	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		80	煙設備							煙 設 備
		81	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		82	煙設備							煙 設 備
		83	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		84	煙設備							煙 設 備
		85	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		86	煙設備							煙 設 備
		87	煙設備				煙 設 備	工事範囲及び説明	A方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機 B方式=煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動器 → 排煙機	
		88	煙設備							煙 設 備



改修後トイレ 平面詳細図

衛生器具リスト (新設・改修)

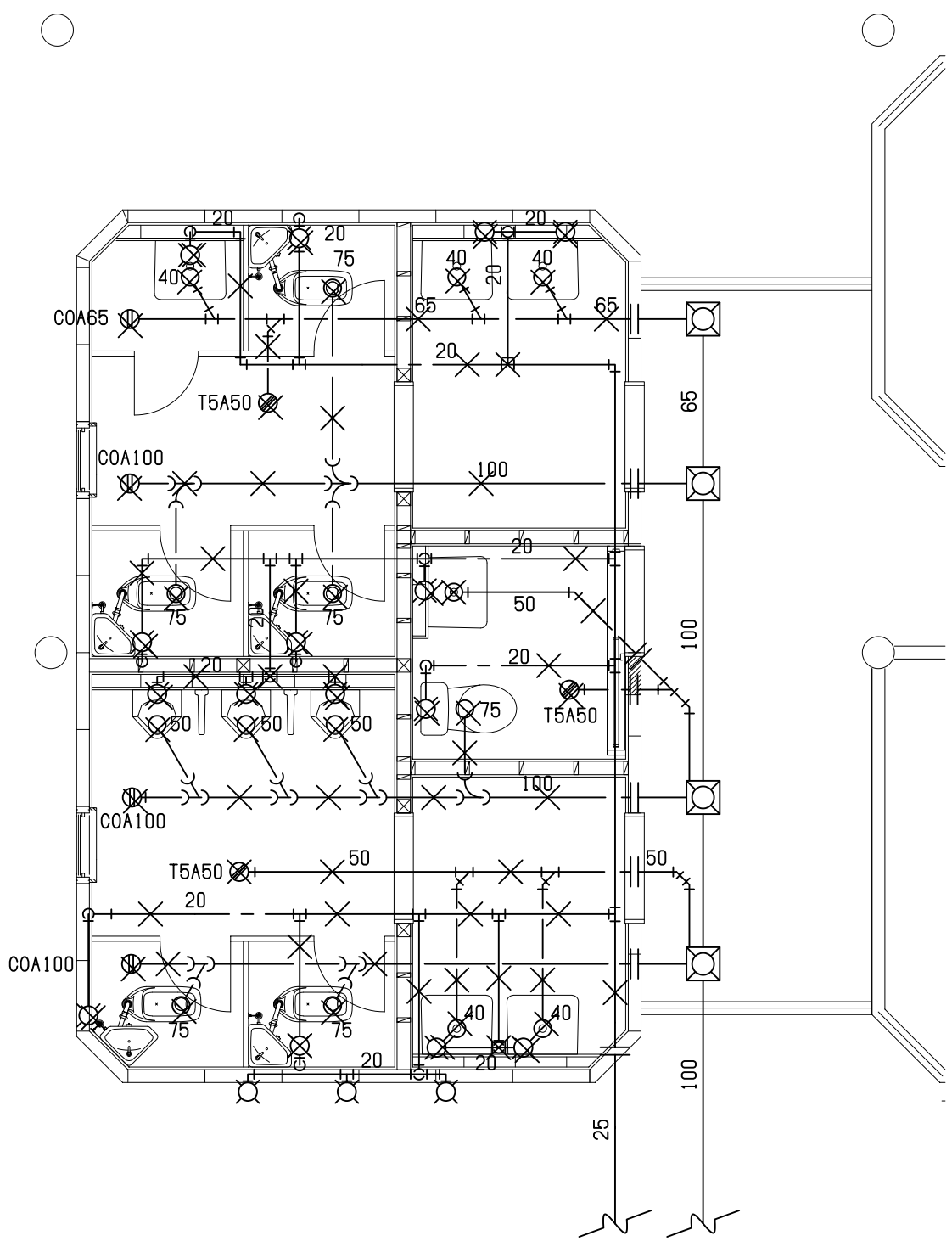
No.	名 称	仕 様 、 付 属 品 等	男子 便所	女子 便所	多目的 便所	参 考 品 番
1	腰掛式便器		2	3		CFS498B
2	腰掛式便器	掃除口付			1	CFS498BC
3	暖房洗浄便座	袖付リモコン	2	3		TCF589AU
4	暖房洗浄便座	壁付リモコン			1	TCF5840AUPN
5	小便器	壁掛式	3			UFS900WR
6	オストメイトバック	コンパクトタイプ			1	UAS81RSB2NW
7	洗面器	発電式自動水栓	1	1		LSB135DN
8	洗面器	発電式自動水栓			1	LSW870APR
9	掃除用流し			1		SK22A
10	化粧鏡		1	1	1	YM4560F
11	化粧棚		1	1	1	YKH401
12	小便器用手すり		1			T1120U22
13	腰掛便器用手すり	L型	2	3	1	T1120L10
14	腰掛便器用手すり	跳ね上げ式			1	T112HK7R
15	背もたれ				1	EW283CR
16	ベビーチェア	角部設置型		1		YKS16S
17	ベビーチェア	平面設置型			1	YKS15S
18	ベビーベッド				1	YKA25S
19	棚付き2連紙巻き器		2	3	1	YH650
20	床上掃除口		1	2		COA100
21	床上掃除口		1			COA65
22	床上掃除口			1		COA50

新設凡例・その他

記号	名 称
—— ———	給水管 HIVP
—— ——— —— ———	汚水管 VP
—— ——— —— ———	雑排水管 VP
—— ——— —— ———	通気管 VP
—— ——— —— ———	接合箇所
—— ——— —— ———	新設仕切弁 JIS-10K
-----	現況残置

注記

トイレ内の既設配管を全て撤去し、新設とする。ただし壁内埋込等で他に管路が無い場合は一部再利用とする。  
新設器具に合わせて貫通孔を設けること。ただし既設貫通孔の再利用は可とする。  
不要貫通孔はモルタルにて埋めること。  
不要管は可能な限り撤去の上、キャップ止め施工とする。(露出キャップは化粧仕上げとする)  
参考品番 同等品以上(記載以外の必要部材1式共)のこと。  
衛生器具の仕様(色柄・寸法・配管方向等)は、監督員および施設担当者と協議を行い決定すること。  
器具の取付部分の補強も本工事とし、事前に打ち合わせを行い補強箇所の確認を行うこと。



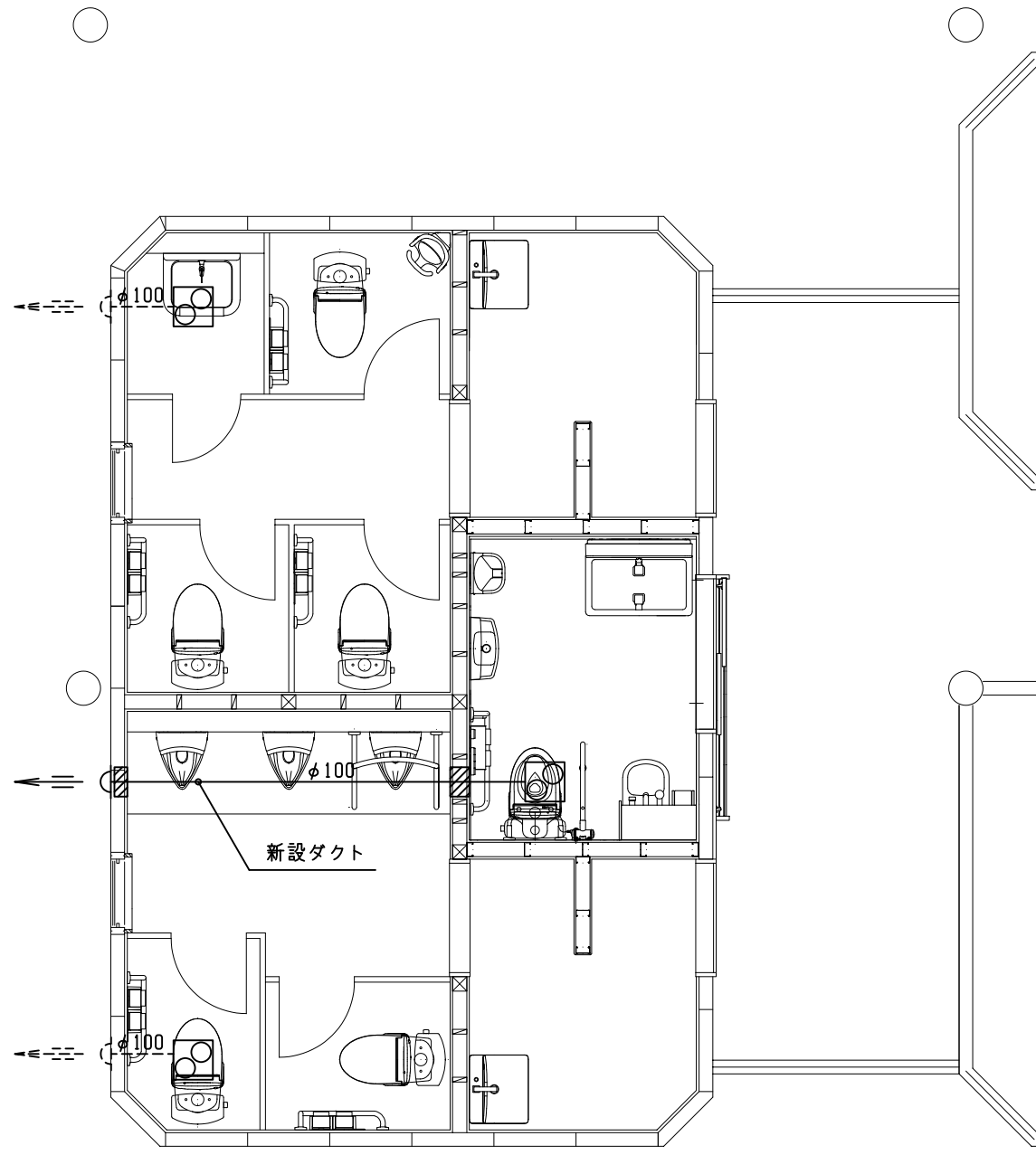
現況トイレ 平面詳細図

衛生器具リスト (撤去・処分)

No.	名 称	仕 様 、 付 属 品 等	男子 便所	女子 便所	多目的 便所	品 番
1	和風大便器、タンク		2	3		C375V、S570B
2	洋風大便器、タンク				1	C48AS、TS140VB
3	紙巻器		2	3	1	
4	小便器			3		U29
5	洗面器		2	2		L230D
6	化粧鏡		2	2	1	TS119F3
7	掃除用流し			1		SK22A
8	多目的用洗面器				1	L103CF
9	手すり				1	T110BML1
10	床排水トラップ		1	1	1	T5A-50
11	床上掃除口		1			COA65
12	床上掃除口		1	2		COA100

現況凡例・その他

記号	名 称
—— ———	給水管 VP
—— ——— —— ———	汚水管 VP
—— ——— —— ———	雑排水管 VP
—— ——— —— ———	切断箇所
×	撤去



改修後トイレ 平面詳細図

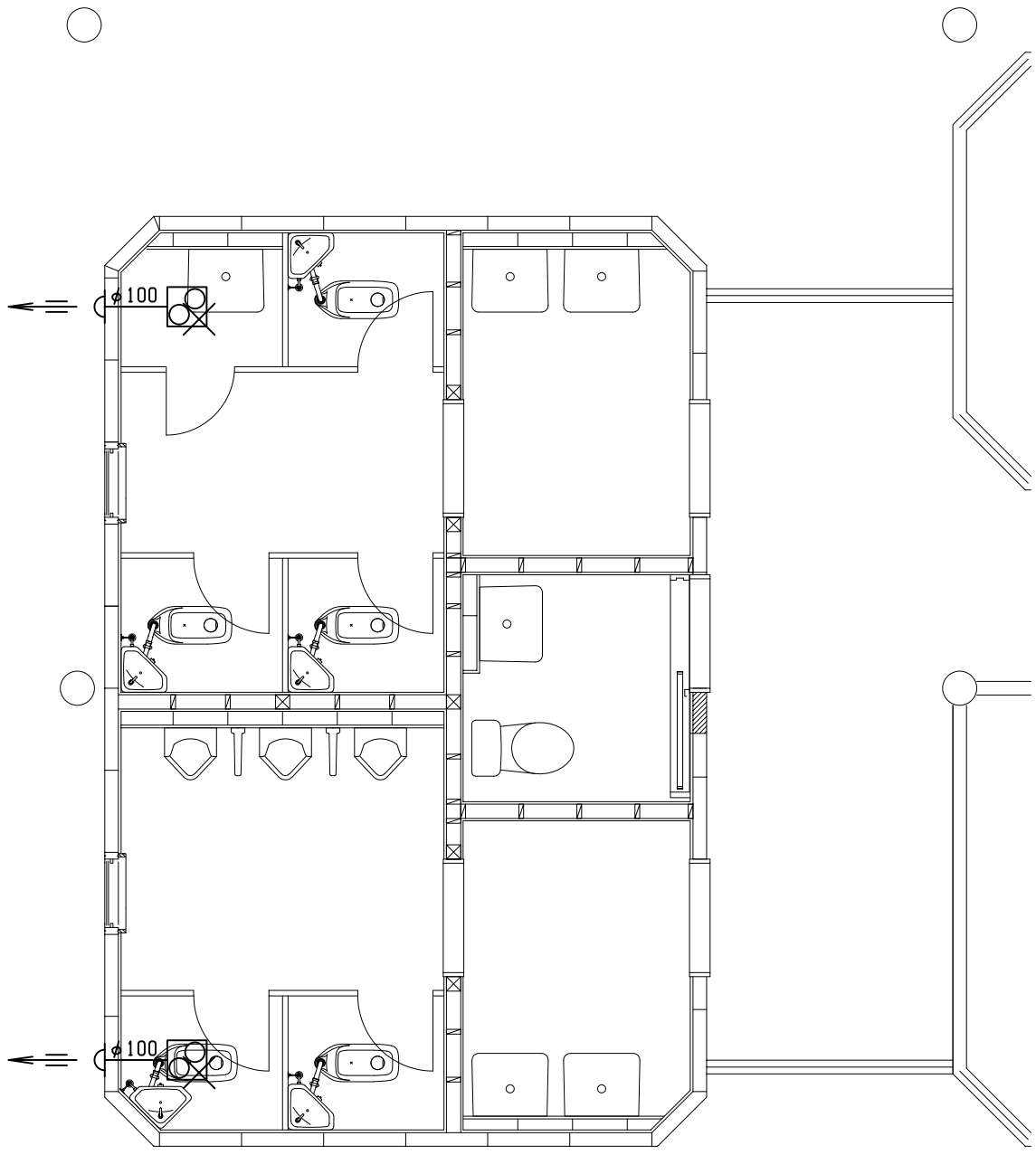
換気設備リスト（新設・改修）

No.	名 称	仕 様 、 付 属 品 等	男子 便所	女子 便所	多目的 便所	参 考 品 番
1	天井換気扇	埋込型 風量：260〔m <sup>3</sup> /h〕	1	1		FY-27BMS7、FY-27L81
2	天井換気扇	埋込型 風量：95〔m <sup>3</sup> /h〕 外：φ100			1	FY-17J8V、FY-17L81
		パイプフード（丸型、7%、防虫網付）				

凡例・その他

特 記 事 項
✕ 撤去
田 天井換気扇
斜線 壁貫通

注記  
新設機器とダクトの接続の際には適宜延長・切断・補修を行うこと。



現況トイレ 平面詳細図

換気設備リスト（撤去・処分）

No.	名 称	仕 様 、 付 属 品 等	男子 便所	女子 便所	多目的 便所	品 番
1	天井換気扇		1	1		FY-24B2

注記  
天井内のダクトは既設残置とする。